

平成20年度

タウンミーティング

「市長と語る」

の

記 録

八王子市 総合政策部 広聴広報室

はじめに

市長が各地域に出向いて、市民の皆様と膝を交えて、市政についてのご意見・ご提案等をお聴きする“タウンミーティング「市長と語る」”も、今年で9年目を迎えました。

タウンミーティングは、市長による市政報告とともに、参加された市民の皆さんからいただいたご意見、ご提案に直接回答するなど、市民と行政が手を携えてまちづくりを考える大切な機会として、「市民が主役」のミーティングを展開しています。

今回は「わがまちの魅力再発見！～八王子力をまちづくりに～」をテーマに開催し、地域の資源をまちづくりに活かす皆様のアイデアについて、市長にご提案をいただきました。

また、今年も本市のテーマであります「音楽のまち」を目指して、市民の皆さんに音楽に接していただく機会を増やすため、市内・近郊の大学の学生の皆さんの協力をいただき、「ミニコンサート」を実施しました。

目 次

はじめに

1. テーマ	1
2. 要望等項目別件数	1
3. 各会場の実績	2
4. 所管別内容	
(1) 所管別件数一覧表	2
(2) 所管別件名一覧表	3
5. 要望、市長答弁要旨及び担当所管	
中央地域 (市役所本庁舎)	7
東南部地域 (由井市民センター)	10
東部地域 (由木東市民センター)	12
西部地域 (恩方市民センター)	17
西南部地域 (横山事務所)	25
北部地域 (石川市民センター)	30
6. 過去の提案等取り組み状況	36
7. 会場配布資料	44
8. 開催案内チラシ	49
9. 学生によるミニコンサート開催日程	50

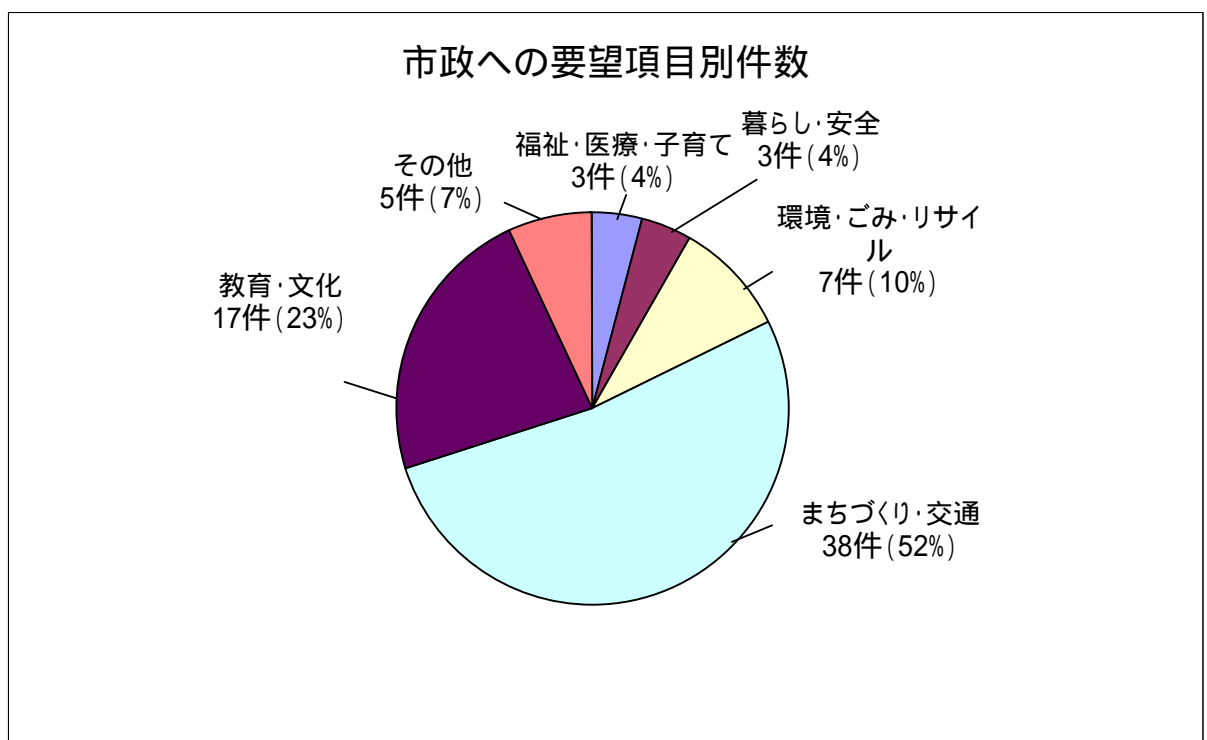
おわりに

1. テーマ わがまちの魅力再発見！

～八王子力をまちづくりに～

2. 要望等項目別件数

開催日	会場	地域	地区	福祉・医療・子育て	暮らし・安全	環境・ごみ・リサイクル	まちづくり・交通	教育・文化	その他	合計
5月17日	市役所本庁舎	中央	本庁	0	0	0	4	3	1	8
5月24日	由井市民センター	東南部	由井 北野	0	0	0	3	1	0	4
5月31日	由木東市民センター	東部	由木 由木東 南大沢	0	1	4	8	2	2	17
6月14日	恩方市民センター	西部	元八王子 恩方 川口	1	0	0	13	5	0	19
6月21日	横山事務所	西南部	浅川 横山 館	1	1	2	4	3	0	11
6月28日	石川市民センター	北部	加住 石川	1	1	1	6	3	2	14
合計				3	3	7	38	17	5	73



3. 各会場の実績

開催日	会場	地域	地区	参加者数 (人)	発言者数 (人)	発言項目 数(件)
5月17日	市役所本庁舎	中央	本庁	122	5	8
5月24日	由井市民センター	東南部	由井 北野	80	4	4
5月31日	由木東市民センター	東部	由木 由木東 南大沢	94	10	17
6月14日	恩方市民センター	西部	元八王子 恩方 川口	84	14	19
6月21日	横山事務所	西南部	浅川 横山 館	98	11	11
6月28日	石川市民センター	北部	加住 石川	115	9	14
			合計	593	53	73

4. 所管別内容

(1) 所管別件数一覧表

部名	件数	部名	件数
総合政策部	7	産業振興部	19
市民活動推進部	10	環境部	11
総務部	2	まちづくり計画部	22
財務部	1	まちなみ整備部 南口再開発推進室	11
生活安全部	6	道路事業部	9
健康福祉部	6	学校教育部	8
こども家庭部	4	生涯学習スポーツ部	11
		合計	127

(2) 所管別件名一覧表

総合政策部		7件
発言番号	発言項目	開催日
11	みなみ野遺跡について	5月24日
21	モノレール延伸他について	5月31日
22	由木東事務所について	5月31日
27	大学と市民の連携について	5月31日
28	事務所統廃合問題について	5月31日
43	街路灯の管理について	6月14日
68	指定管理者制度について	6月28日

市民活動推進部		10件
発言番号	発言項目	開催日
3	学園都市づくりについて	5月17日
12	自治会の会館について	5月24日
21	モノレール延伸他について	5月31日
27	大学と市民の連携について	5月31日
31	小野田中央公園でのイベントについて	6月14日
43	街路灯の管理について	6月14日
46	スポーツクラブと恩方音頭について	6月14日
47	路上パフォーマンスできる場所について	6月14日
61	図書返却BOXについて	6月28日
71	滝山城について	6月28日

総務部		2件
発言番号	発言項目	開催日
5	表彰について	5月17日
23	要援護者の避難支援について	5月31日

財務部		1件
発言番号	発言項目	開催日
66	資材価格高騰による契約について	6月28日

生活安全部		6件
発言番号	発言項目	開催日
5	表彰について	5月17日
17	安全BOX設置について	5月31日
23	要援護者の避難支援について	5月31日
53	防犯について	6月21日
67	防犯カメラについて	6月28日
73	小・中学校の耐震補強工事について	6月28日

健康福祉部		6件
発言番号	発言項目	開催日
10	高尾山のボランティアについて	5月24日
12	自治会の会館について	5月24日

23	要援護者の避難支援について	5月31日
41	保健センターについて	6月14日
53	防犯について	6月21日
62	八王子小児病院の存続について	6月28日

こども家庭部

4件

発言番号	発言項目	開催日
16	地域清掃について	5月31日
48	青少対への補助金について	6月14日
49	エコキャップボランティアについて	6月21日
68	指定管理者制度について	6月28日

産業振興部

19件

発言番号	発言項目	開催日
1	さくら祭りについて	5月17日
4	スペイン語による観光案内について	5月17日
7	八王子力について	5月17日
8	八王子城の復元について	5月17日
9	道の駅のお魚版について	5月24日
10	高尾山のボランティアについて	5月24日
18	スーパーについて	5月31日
20	都市景観について	5月31日
21	モノレール延伸他について	5月31日
27	大学と市民の連携について	5月31日
29	自主耕作について	5月31日
33	小仏バス停のトイレについて	6月14日
37	高尾山について	6月14日
55	観光資源としての高尾山の活用について	6月21日
57	高尾の里について	6月21日
65	用途地域について	6月28日
70	高尾山の伐採について	6月28日
71	滝山城について	6月28日
72	太陽光発電とケナフについて	6月28日

環境部

11件

発言番号	発言項目	開催日
16	地域清掃について	5月31日
30	市の工事について	6月14日
35	水とみどりに親しむ回廊づくりについて	6月14日
36	開発について	6月14日
44	川口川の整備について	6月14日
45	研究会について	6月14日
49	エコキャップボランティアについて	6月21日
50	喫煙マナーについて	6月21日
52	プラスチックごみについて	6月21日
69	宇津木の区画整理について	6月28日
72	太陽光発電とケナフについて	6月28日

まちづくり計画部

22件

発言番号	発言項目	開催日
2	バスの運行について	5月17日
6	西八王子について	5月17日
7	八王子力について	5月17日
11	みなみ野遺跡について	5月24日
13	電柱・電線について	5月31日
19	電柱と電線の地中化について	5月31日
20	都市景観について	5月31日
21	モノレール延伸他について	5月31日
30	市の工事について	6月14日
32	竹塚について	6月14日
35	水とみどりに親しむ回廊づくりについて	6月14日
36	開発について	6月14日
37	高尾山について	6月14日
38	恩方第二小へのバスについて	6月14日
39	サイクリングロードについて	6月14日
40	川の保全について	6月14日
42	八王子城跡調整ダムについて	6月14日
44	川口川の整備について	6月14日
45	研究会について	6月14日
56	自治会の自主運行バスについて	6月21日
63	所有地の開発について	6月28日
65	用途地域について	6月28日

まちなみ整備部・南口再開発推進室

11件

発言番号	発言項目	開催日
3	学園都市づくりについて	5月17日
12	自治会の会館について	5月24日
15	野鳥を紹介する掲示板について	5月31日
20	都市景観について	5月31日
24	グランドゴルフのコースについて	5月31日
25	道路排水溝の整備について	5月31日
26	ゴミ箱の設置について	5月31日
31	小野田中央公園でのイベントについて	6月14日
47	路上パフォーマンスできる場所について	6月14日
64	緑地・公園の緑の保全について	6月28日
69	宇津木の区画整理について	6月28日

道路事業部

9件

発言番号	発言項目	開催日
6	西八王子について	5月17日
13	電柱・電線について	5月31日
15	野鳥を紹介する掲示板について	5月31日
19	電柱と電線の地中化について	5月31日
20	都市景観について	5月31日

25	道路排水溝の整備について	5月31日
54	階段のスロープについて	6月21日
60	はちバスについて	6月28日
64	緑地・公園の緑の保全について	6月28日

学校教育部

8件

発言番号	発言項目	開催日
11	みなみ野遺跡について	5月24日
14	中学校給食について	5月31日
15	野鳥を紹介する掲示板について	5月31日
17	安全BOX設置について	5月31日
38	恩方第二小へのバスについて	6月14日
59	学校選択制について	6月21日
66	資材価格高騰による契約について	6月28日
73	小・中学校の耐震補強工事について	6月28日

生涯学習スポーツ部

11件

発言番号	発言項目	開催日
8	八王子城の復元について	5月17日
9	道の駅のお魚版について	5月24日
11	みなみ野遺跡について	5月24日
24	グランドゴルフのコースについて	5月31日
34	新体育館について	6月14日
46	スポーツクラブと恩方音頭について	6月14日
51	石平道人について	6月21日
58	石平道人の顕彰について	6月21日
61	図書返却BOXについて	6月28日
68	指定管理者制度について	6月28日
71	滝山城について	6月28日

5. 要望、市長答弁要旨及び担当所管

(発言者敬称略)

【中央地区】

平成 20 年 5 月 17 日(市役所本庁舎)

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
1	<p>【さくら祭りについて】</p> <p>先日の「さくら祭り」では大変お世話になり大盛況で終わることができ、ありがとうございました。まちを回って、八王子には魅力がものすごくたくさんあると痛感した。伝統的な歴史の資源だけではなく、人的にもすばらしい人がいる。八王子には色々ないい物を売っているなど勉強させられた。八王子の素晴らしいものを都心にどんどん紹介していきたい。</p> <p>(榎本 邦美)</p>	<p>先日、「八王子是(おこし)市民の会」として、「さくら祭り」を開催していただいた。たいへん多くの皆さんが楽しまれ、天気にも恵まれた。私もお邪魔させていただき、素晴らしい試みだなと感じた。引き続いて、来年もさらにお力添えをいただければと思う。</p>	産業振興部
2	<p>【バスの運行について】</p> <p>大気汚染を考えると、自家用車を使わずなるべくバスを使ってもらいたい。都内に行く、バスのサービスもマナーも良い。八王子は価格が高い。都内は 200 円均一である。均一なら、前から乗って真ん中から降りることが出来るため、乗降がスピーディになる。検討していただけないか。八王子はバスに関して力を入れて対策を練ったらどうか。</p> <p>(榎本 邦美)</p>	<p>バス料金については、都心と状況が違うから難しい。規制緩和で採算がとれない路線が切り捨てられている。市内でも西のほう(恩方・小津)は、バス路線がなくなってしまった。そこに新しい交通システム、足を確保していくのが課題になる。都心は交通網が整備されているため、乗る区間が短い。八王子のような地域では、バス会社も考えられないとの返事である。アイデアは面白いが、現実的には地理的に難しい。</p>	まちづくり計画部
3	<p>【学園都市づくりについて】</p> <p>八王子には魅力がいっぱいある。皆さんが知らない部分をどうアピールするかが大事である。八王子には大学がたくさんあるが、大学生との交流を活かしたまちづくりができないかと思っている。一緒になって、色々なテーマで研究できればと考えている。</p> <p>(榎本 邦美)</p>	<p>八王子は全国有数の学園都市である。今、色々な機会に学生が参加してくれている。産業の面でも新製品の開発についても支援・連携をしているケースもたくさんある。周辺にいる学生が少しでも市内にこられるような環境づくりは大事だと思っている。八王子駅南口の再開発にともないスクールバスのバス停を造る。学校の行き帰りに学生が八王子のまちに寄ってもらえれば活性化に寄与すると思う。そういう環境づくりは行政の責任としてやっていかなければならない。そういう姿勢で、これからも本当の意味での学園都市づくりに取り組みたい。</p>	市民活動推進部 南口再開発推進室

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
4	<p>【スペイン語による観光案内について】</p> <p>ここ 20 年くらい中南米の国々と交流している。高尾山に外国人観光客が多くなってきている。その中で、英語・ハングル・中国語はあるが、スペイン語はない。ぜひ、スペイン語のガイド・道案内・パンフレットがあればと思っている。</p> <p>(高木 薫)</p>	<p>国際化というのは、積極的に取り組まなければならない事項のひとつである。八王子には、外国人登録をしている方が 8500 人前後おり、国も 95～98 か国になる。まさに国際都市である。高尾山の外国人観光客は 3 割増えた。ペルーやアルゼンチンなどは日系人も多い。中南米は、ブラジル以外はスペイン語である。それらを考えると、スペイン語の対応もこれから考慮しなければならないと感じている。今後の課題とさせてほしい。</p>	産業振興部
5	<p>【表彰について】</p> <p>東京都消防庁災害時支援ボランティアを長くやっている人の表彰を考えていないか。</p> <p>(峯尾 仁)</p>	<p>地域の方々や団体の方々から申請をうけ、「親切表彰」を毎年行っている。災害時支援ボランティアは、現在 568 人が登録してくれている。10 月 1 日の市制記念日には、「生活安全功労」という表彰を行っている。基準は、15 年以上団体の長、または 18 年以上団体の役員を務めた方であり、災害時支援ボランティアの方は、これに該当すると思う。</p>	総務部 生活安全部
6	<p>【西八王子について】</p> <p>西八王子をなんとかしてほしい。</p> <p>(峯尾 仁)</p>	<p>八王子駅南口の次に高尾駅の整備をすることになっている。高尾駅は南から北に自由に行けない状況になっており、高尾駅と北口駅前広場の整備を計画している。南北自由通路も整備する計画をしている。西八王子駅は一方通行化して整備しようと考えている。駅と甲州街道の間の道も整備し、今、自転車がたくさん停まっているがバリアフリー化した歩道を設置する計画である。</p>	まちづくり計画部 道路事業部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
7	<p>【八王子力について】</p> <p>八王子駅の南口が再開発され、玄関口が立派になると思う。八王子は何を核にするのか。「八王子力」というのは、今までの考えではいけないと思う。八王子には城・たくさんの名刹・古刹(寺)があり、八王子織物の絹、そして遺跡がある。芸能でいくと車人形がある。これら先人が残してくれた文化を中心として、核として、八王子が活性化していくのではないか。</p> <p>(橋爪 寛行)</p>	<p>八王子の魅力については同感である。まちは生き物である。固定化されたものではなく、産業構造も変わってきた。八王子が今、誇れるのは、ものづくりの企業が集積していることで、全国でも注目されている。これは素晴らしいこと。時代にあったものを、どう行政として支援していくのか。まちづくりに活かしていくのか。城や寺も素晴らしい。千人同心の歴史もある。これらをまちづくりに活かしていかなければならない。高尾の里づくりに取り組んでいる。22年度までにやる。八王子の良いところを活かしたまちづくりを必ずしていく。</p>	産業振興部 まちづくり計画部
8	<p>【八王子城の復元について】</p> <p>八王子城は、資料がなく復元が難しい。そこで、新八王子城を模擬城として造ろうと考えている。市民の力、市民がお金をだして造りたい。掛川城や宇都宮城でも行っている。観光は「感幸」である。みんなで力をあわせて造る事ではないか。市制100周年の迎えるにあたって、市の方でプロジェクトを発足してほしい。</p> <p>(飯田 莞造)</p>	<p>八王子城の復元は難しいと思う。形がどうであったか、戦国時代の山城であったから資料がない。八王子城は、他の城とは歴史が違う。八王子城が、城郭もないのに4700の城の中から名城100選に選ばれたのは、その後の保存状態が良いことと、歴史的な価値があるということである。行政が史実に基づいていないもの、裏づけがないものに取り組むというのは難しい。</p>	産業振興部 生涯学習スポーツ部

【東南部地域】

平成 20 年 5 月 24 日(由井市民センター)

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
9	<p>【道の駅のお魚版について】</p> <p>電車やバスを利用する人をターゲットにしたまちづくりを提案したい。明神町にある産業技術研究センターや合同庁舎の東京都の移転用地に「道の駅のお魚版」のような施設を造り、新名所にしたらどうか。函館市の海鮮市場や東京のアメ横や築地のようなイメージで観光化されたものである。北野町の卸売市場を移転増強することを考え、その中に八王子らしいものをいれたらどうか。オンリーワンのまちづくりになるのではないかと。中心地に人を呼ぶことが大事だと思う。</p> <p>(古宮 章次)</p>	<p>ユニークなご提案をいただいた。この土地は、東京都が当初売る予定であったが、今では「多摩シリコンバレー構想」といいだしている。急にそうなった訳ではなく、伏線を市が努力してきた。「道の駅のお魚版」という考え方はおもしろい。魚の場合は、港があるから買いに行くのではないかと。八王子では現実には難しい、適さないのではないかと。中身については、これから検討していく。北野町の卸売市場も課題になっている。店が減ってきている。いろいろと考えて検討していきたい。</p>	<p>産業振興部 生涯学習スポーツ部</p>
10	<p>【高尾山のボランティアについて】</p> <p>高尾山について提案したい。ボランティアとして、手話ガイドや外国語のガイドをして、観光客を案内することを提案したい。効果として、八王子の住民は、高尾山の良さ・美しさを再認識することができ、市外の人には、八王子の良さをPRすることができる。八王子市民としての誇りを自覚することができる。</p> <p>(宮本 一郎)</p>	<p>今回の提案はありがたい。今、4か国語で案内板を設置している。ボランティアガイドも必要だと思っている。外国人観光客が多くなっているから、対応は必要だと思う。地域で常駐している外国語ボランティアは、現状はいない。観光協会とも連携の上で、これから対応を考えていこうと思っている。障害者の方も多くみえるので、障害者対応のボランティアガイドも、お知恵を借りながら今後検討していきたい。</p>	<p>産業振興部 健康福祉部</p>
11	<p>【みなみ野遺跡について】</p> <p>みなみ野では、39か所で1万6千年前のものが見つかっている。200人くらい入れる23mもの大型住居が見つかっており、これは東日本でひとつかふたつしかない貴重なものである。御殿山窯跡群は、200箇所あるうち73箇所見つかっている。この貴重な財産を子どもたちに伝えていくのは必要であると思う。この地域にあったものを考えるべきである。とても大事な教育ではないか。「湧水マップ」のように、地域の子もたちに伝えていくことが大切。郷土資料館も古くなってきている。現物を見てもらうのが一番伝わる。</p> <p>(武藤 真啓)</p>	<p>貴重な提言をいただいた。私もその通りだと思う。地域を知るということで、子どもたちや新しく市民になった方が、ふるさと意識を持ってもらえる気持ちが醸成できる。非常に大事なことだと思っている。八王子は遺跡がたくさん出ている。それを、子どもたちに何らかの形で教育の中に取り入れることは、価値のあることだと思っている。郷土資料館はすごく大事だと思う。資料館は古くなってきた。資料が入りきれず、廃校になった学校を倉庫にして保管している。しかし、見てもらうことで価値がある。資料館は、いずれやらなくてはならないと思っている。ただ、優先順位がある。提案を活かせるよう努力する。</p>	<p>総合政策部 まちづくり計画部 学校教育部 生涯学習スポーツ部</p>

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
12	<p data-bbox="225 215 746 584">【自治会の会館について】 町会で一番困っているのが、自治会の会館がないことである。活動をしにくいということである。昨年のタウンミーティングの取り組み状況を見ると、「ふれあいサロン」事業を行っていることを、初めて知った。私たちの町会にも是非ともそういう場をお願いしたい。</p> <p data-bbox="571 600 746 633">(江頭 和昭)</p>	<p data-bbox="778 215 1299 869">みなみ野地区は、急激に人口が増え、活動の場が十分ではないということは、よく承知をしている。ただ、みなみ野地区を最優先にとはなかなかできない。従前からある町会でも知恵をだしあって、皆さんが積み立てをして、一定の基準に応じて市が補助金をだして建て替えをしている例もたくさんある。市ができることには、限界と順序がある。「片倉集いの森公園」を整備する。その中で管理棟を設置するので、そこを使えるように整備し、当面の間、活用していただくということで、ご理解いただきたい。今のところ、各町会で会館を持つという段階ではないと思っている。</p>	<p data-bbox="1331 215 1441 342">市民活動推進部 健康福祉部 まちなみ整備部</p>

【東部地域】

平成 20 年 5 月 31 日（由木東市民センター）

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
13	<p>【電柱・電線について】</p> <p>13 階に住んでいるので、ドアを開けると目の前が電柱。円柱のトランスが 2 個、ちょうど視界に入る高さである。「未来にはわがまちから電柱・電線がなくなればいいなあー」と思っている。</p> <p>(高橋 悦子)</p>	<p>「電柱・電線がなくなればいいなあー」に同感である。進めてはいるが、1mあたり 50 万円の費用がかかる。市内中心部の甲州街道や 16 号沿いを順次進めている。地域でお金を出すというのは経費がかかりすぎ、全国にも例がない。また、一定の幅員が必要でもある。場所によっては、電柱に道路標識・街路灯など、色々な物が入っているため、協力態勢がないと難しい。簡単ではないが、鋭意進めている。</p>	まちづくり計画部 道路事業部
14	<p>【中学校給食について】</p> <p>来年度から始まる中学校給食の実現ありがとうございます。</p> <p>(白水 嘉奈子)</p>	<p>中学校給食については、小学校の方式とは違う。お弁当の大事さもあるため、お弁当併用のデリバリー方式で行う。来年度、全中学校一斉に実施したい。今は、配膳室等の準備を進めている。</p>	学校教育部
15	<p>【野鳥を紹介する掲示板について】</p> <p>松が谷は、多くの公園や緑に囲まれ、野鳥などの生き物や植物観察が毎日できる。大塚公園には、野鳥観察の看板がある。松が谷遊歩道にも、野鳥を紹介する温かみがある木の掲示板があったらいいと思う。小・中学校でよく観察しているので、応用できたらいいと思う。</p> <p>(白水 嘉奈子)</p>	<p>温かみがある木の掲示板は、確かに良いと思う。それは、それぞれの地域の良さ、まさに地域力で、先生方や P T A ・地域のみなさんで知恵を出し合う手づくりが良いのではないかと。行政がつくる物よりも心が入ると思う。詳しい先生も学校にいらっしゃると思うので、総合的な学習で取り組むとか、働きかけたらいいか。</p>	まちなみ整備部 道路事業部 学校教育部
16	<p>【地域清掃について】</p> <p>地域がきれいと感じるのは、長年にわたり、小学校 P T A ・青少対活動・地域の方々が清掃をしている賜物だと思う。年 3 回行っている青少対の地域清掃に参加しましょう。自然とみなさんとのコミュニケーションがとれ、楽しいと思う。</p> <p>(白水 嘉奈子)</p>	<p>一番大事だといわれている地域力。地域力がしっかりしている地域は犯罪も少ないし、万が一災害があった時もみなで助け合える。非常に大事なことだと思っている。皆さんに敬意を表したい。</p>	こども家庭部 環境部
17	<p>【安全 B O X 設置について】</p> <p>中学生になると、帰宅が遅くなる。遊歩道は車が通らない。不審者を見つけ連絡しても、間に合わない。携帯は良くないといわれている。できれば、遊歩道の</p>	<p>警察署との直通電話は難しい。携帯電話が問題になっているが、子どもの安全を考え、連絡を取り合う必要性もある。携帯から 110 番ができるのであるから、万が一の場合、それが一番早い。安全 B</p>	

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
	<p>中間地点ぐらいに警察と直通の電話や安全BOXができないだろうか。</p> <p>(白水 嘉奈子)</p>	<p>OXを作って、そこに人がいるというのは現実的には難しい。子どもたちが悲惨な事件・事故に遭わないことは、大事なことだと思う。知恵を出し合ひましょう。</p>	<p>生活安全部 学校教育部</p>
18	<p>【スーパーについて】</p> <p>商店街にあったスーパーがなくなったことが残念である。公社の建物であるが、市の方でどこか入るように交渉してもらえないか。地域の人も朝市をしたりして、頑張っている。</p> <p>(白水 嘉奈子)</p>	<p>スーパーについては、行政で斡旋する訳にはいかない。買ってもらわないと駄目である。商売にならないと撤退してしまう。前例があるから、考えてみたい。</p>	<p>産業振興部</p>
19	<p>【電柱と電線の地中化について】</p> <p>まちの電柱と電線をなくしてもらいたい。南大沢の四季の丘に住んでいるが、緑豊かで、道が広く、住宅地としては良いほうだと思う。この景観と品格を著しく損なっているのが、電柱と電線である。電線の状況は、年々増え悪化してきている。電線を地中化することを市は積極的に考えられないか。住民が応分の負担をしても良いと考えている。どうしたら要望に対応できるのか。</p> <p>(鈴木 勝久)</p>	<p>住宅地の電線は、八王子の全域である。今、行っているのは、幹線道路沿いや人が多く集まる場所である。八王子市は、面積でいえば、山手線の内側の3倍である。56万人が住み、24万世帯が住んでいる訳であるから、なかなか難しい。1m50万円といっても、上下水道やガス等の移設を除いた、地中化するだけの金額である。皆さんが負担しようとした時に、負担しきれるかどうかが、現実的ではない。要望は、しっかり受け止める。</p>	<p>まちづくり計画部 道路事業部</p>
20	<p>【都市景観について】</p> <p>歴史的な大規模開発であるニュータウン。多摩丘陵への里山といわれるような自然へのアプローチがしやすいし、南大沢・長沢地区の造成後の景観は素晴らしい。これを、八王子の新しい観光資源として考えてほしい。問題としては損なわれた自然の再生であろう。植栽についても、多摩の自然との mismatch、適合しないものは検討して欲しい。都市景観上の観光資源として無視できない。</p> <p>(松本 博之)</p>	<p>我々は当たり前のように過ごしているが、八王子はやっぱり魅力があると感じている。不都合な点は、時間をかけてでもきちんと正していくということは大事なことだろうと思うから、折々にご意見をいただきたい。公園や緑地の管理を、業者任せにしているということはない。経費的に、専門的にやったほうが良いという所は、業者をお願いしている。その場合も、管理・監督は市が行っているため、是非ご安心いただきたい。</p>	<p>産業振興部 まちづくり計画部 道路事業部 南口再開発推進室</p>

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
21	<p>【モノレール延伸他について】</p> <p>モノレールについて、採算不振でお荷物になって忘れ去られているが、府中市の是政方向、八王子方向への延伸という計画がもともとあったわけであるから、是非今後考えてほしい。国際レベルのホテルを誘致してほしい。大学が多いので、連携を強くしてほしい。由木東事務所を含む事務所統合問題であるが、廃止になった場合には市からのサービスが受けられなくなるため、危機感を持っている。</p> <p>(松本 博之)</p>	<p>モノレールの延伸は、現状では難しい。当初の計画に可能な限り近づけるよう努力してほしいと要望しているが、具体的に進んでいないのが現状である。大学との連携は積極的に行い、八王子の観光PRビデオは大学に作ってもらっている。ミニコンサートも八王子だからこそできるのではないかと。事務所を廃止する話はしていない。地域の皆さんに納得していただけないことは、どんなことでもやるとは考えていない。高齢化も進み、八王子も広いから、身近なところで市民サービスが受けられる方向で進めたい。</p>	<p>総合政策部 市民活動推進部 産業振興部 まちづくり計画部</p>
22	<p>【由木東事務所について】</p> <p>由木東事務所の統廃合問題である。八王子中心部に行くには非常に不便で、多摩市編入運動が起こり、その見返りとして、由木東事務所が開設されたのは周知のことである。由木東事務所を廃止することなど、この地域の住民にとって理解できる話ではない。「地域サービスのあり方検討委員会」の提言は、ATM機械化でサービス水準を維持するとなっているが、機械になじまない高齢者にとっては、不安と負担を強いることになる。市の職員を残し、利便性だけでは代えがたい安心感と、きめ細かい住民サービスを維持してほしい。</p> <p>(齋藤 仁一)</p>	<p>由木東事務所ができた経過、その当時のことは承知している。多摩市編入問題があったことも、「地域サービスのあり方検討委員会」の提言も承知している。由木東事務所がなくなると、誰かに言われているのか。皆さんの意見も十分に聞いて、地域性も考慮し、これから判断をしていくと前から言っている。地理的なことから、簡単には移動できないことは承知している。広い八王子の中で、利便性をどう確保していくのがいいのかということが大事なこと。マイナスになることはしないと。みなさんにご不便をおかけしたり、不満を募らせるようなことはしない。きちんと理解してほしい。</p>	<p>総合政策部</p>
23	<p>【要援護者の避難支援について】</p> <p>災害時における要援護者の避難支援について、お願いしたい。民生委員として、昨年来「災害時一人も見逃さない運動」を展開し、地域における要援護者のリストを、本人の同意を得た上で作っている。一日も早く、防災関係部局と福祉部局と合同で支援体制を作りたいというのが要望であった。先日、防災課の研修が</p>	<p>民生委員のみなさんは、地域福祉を考えた時、なくてはならない存在で、大変感謝している。個人情報保護がいきすぎていると感じることがある。地域によっては、自主防災組織が積極的に作り、地域で助け合いの態勢ができている所もある。八王子市は61%自主防災組織ができおり、東京都の中で最も高い数字である。ここで、「災害時要援護者避難支援プ</p>	<p>総務部 生活安全部 健康福祉部</p>

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
	あり、これから地域に応じた具体的な対策を講じていくことがわかった。民生委員として、そのようなことをしていることを知っていただくことも必要だと思い発言した。さらに、連携について進めてほしい。 (坂本 睦枝)	ラン」を作成する。これは、高齢者・障害者に対する情報伝達・安否確認・避難誘導等の手引きとなるもので、今、進めている。平時から、要援護者情報を地域のみなさんと共有できて、支援するという態勢を構築することが大事だと思う。民生委員の皆さんの協力は不可欠である。是非、中心になってお力添えを賜りたく、お願いしたい。	
24	【グランドゴルフのコースについて】 グランドゴルフ認定コースの設置とその自主管理を提案したい。モデルコースを大塚公園に設置(東京都初)し、コース管理を自主管理することで、健康増進を図る。ただし、資材等は市で負担してもらいたい。当初の設定も負担してもらいたい。芝の管理等の講習もお願いしたい。 (中村 史朗)	グランドゴルフは、非常に盛んで、健康にも良く、楽しい。将来的に適地があれば、認定コースもいいと思う。ただ、大塚公園は、すでに市民に親しまれている公園であるから、新たに専門のコースを造ってしまうのは難しい。幼稚園・小学校の遠足や近隣住民の憩いの場所にもなっている。この場所にとというのは難しいのではないか。	まちなみ整備部 生涯学習スポーツ部
25	【道路排水溝の整備について】 道路排水溝の整備を提案したい。旧三本松小学校(現デジタルハリウッド大学)前の三本松陸橋交差点の道路排水溝の排水口が、枯葉などで閉塞し、深さ25cm程度の洪水となる。八王子市は広大であり、とても市のみでは管理できない。そこで、ボランティアではなく、報酬を払うことを原則に管理委託できないだろうか。保険や装備品・清掃道具は、市の負担とする。 (中村 史朗)	この場所の清掃については、委託をしている。構造的にも落ち葉がたまって、雨が降ったときに大きな水溜りができるということは承知している。台風・大雨の予報が発令された時に、事前に清掃を行っている。もっと密にやるように指示をする。道路は危ない。交通量も車のスピードも違う。道路をアドプトとか若干の報酬を払うボランティアに近い形で維持していただくのは、現実的ではない。本職に、さらに密にやらせる。	まちなみ整備部 道路事業部
26	【ゴミ箱の設置について】 公園などのゴミ箱の設置を提案したい。ゴミを出さない、捨てないとの個人モラルの尊重とコストダウンの目的でゴミ箱が撤去されたが、現状町は汚い。元ニューヨーク市長のジュリアーニの提唱した割れ窓理論の実践として、ゴミ箱の配備復帰を願いたい。 (中村 史朗)	今、モラル・マナーが低下している。ゴミ箱を設置すると、かえってよくない状況になると思う。だから、ゴミ箱は戻すつもりはない。まさに割れ窓理論である。少しでもゴミが落ちてると、どんどん捨てられる。最初にそうならないように気を使っていくことは大事なことだと思う。地域についても是非そういう姿勢で、取り組みをお願いしたい。	まちなみ整備部

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
27	<p>【大学と市民の連携について】</p> <p>大学と市民との関係をより密にして、学びたい市民、特に団塊の世代の人に大学を開放するよう連携を持つ。また、学生が市民の中に入り、お互いに真理を求め合う姿勢が大事である。</p> <p>(深澤 道則)</p>	<p>大学との連携は、積極的に行っている。例えば、八王子の市民大学である八王子学園都市大学(通称いちょう塾)がある。23の大学すべてが講座を出している本格的な市民大学は、八王子が初めてではないか。生涯学習の場として、これだけ多くの方が参加する市民大学は他にない。中学校の部活の指導の手伝い等、色々な角度でやっていただいている。また、外国人留学生3400名の方たちにも色々な協力をいただいている。まちづくりにも協力をいただき、八王子のことを理解していただく努力もしている。</p>	<p>総合政策部 市民活動推進部 産業振興部</p>
28	<p>【事務所統廃合問題について】</p> <p>「由木地域の3つの事務所は別枠で考え、存続する。ただし、拠点事務所をどこに置くかはこれから考える。」と市長が言ったと聞いている。私たちは歓迎する。住民の要望をよく聴いてくれたとの評価をおしまない。問題なのは、市の情報公開のあり方である。市のあり方検討(「地域サービスのあり方検討委員会」)の内容の情報がなく、不安を増すような結果になった。それは反省が必要ではないか。広報で明確にすべきではないか。情報公開のあり方について努めてほしい。</p> <p>(大田 勉)</p>	<p>私は終始一貫、外部に向かって言っていること、議会で答えていることも、まったく同じである。基本的には、まったく変わっていない。去年も同じである。私は、言っていることが一切変わっていない。議事録にも残っている。由木地域は特別にということではなく、地理的な条件が違う。皆さんが不便を感じないように考えるから、心配しないでくださいと言っている。まだ広報で知らせる段階ではない。広報で知らせる段階になったら、きちんと掲載する。</p>	<p>総合政策部</p>
29	<p>【自主耕作について】</p> <p>八王子に引っ越してきたとき、生ゴミを捨てるのがもったいなく、借りた土地に畑を作って、作物を育てている。完全な無農薬である。年間2万5千円を払って借りている。市民がひとり一坪ずつでいいから、買えない人は安く借りられるようにすればどうか。身体は動かさなければ、動けなくなってしまう。</p> <p>(井上 光子)</p>	<p>ご自身で畑を借りて、無農薬の野菜を育てている。これは自分の身体に良いことだ、地主も喜んでくれている、これを是非広げたいとのこと。おっしゃるとおりだと思う。今、市民農園をやっている。遊休農地を借り、市民の皆さんに手を挙げていただき、貸している。好評で多くの人達に使ってもらっている。これを、さらに機会を広げていきたい。</p>	<p>産業振興部</p>

【西部地域】

平成 20 年 6 月 14 日(恩方市民センター)

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
30	<p>【市の工事について】</p> <p>今までの市政を見直すこと、改善することによって、さらに良いまちにすることができると思う。2つの例を話す。ひとつは、大楽寺町 111-4 の前の市道に雨が降るといつも水が溜まり、通行に支障がある箇所がある。何度も、水溜りの部分を直してほしいと頼んだが、関係のないところの工事はできないと断られた。近い場所で3回も工事するのは市税の無駄。たて割りの対応をしないで1回の工事ですべて対応してほしい。また、水道の引き込みの位置について将来のことも配慮し、土地の所有者とよく相談してほしい。工事についても、盛り土が不足しすぐ道路が陥没してしまう。業者も、他人の土地に勝手に駐車するなど迷惑行為がある。</p> <p>(石森 信)</p>	<p>事前に話を伺っており、大楽寺町の現場については既に手配をしている。道路が狭く側溝が入れないということもあって、舗装しちゃうと水はけが悪くなってしまふ場所が多い。そういう点では、迷惑をかけている。水道の工事の際、引き込みの位置を地主と話をするのは、当たり前のこと。そういう点がなされていなかったとすれば、私がお詫びする。水道については、本年4月1日から東京都が行っているの、それもちゃんと引き継いで迷惑かけないようにする。業者の駐車については、常識として、声をかけ理解をいただいてからということであろう。業者にも徹底をさせる。</p>	<p>環 境 部 まちづくり計画部</p>
31	<p>【小野田中央公園でのイベントについて】</p> <p>小田野中央公園で、「恩方桜とザ・バンド」の開催を提案したい。学生やおじさん・おばさんと、幅広く審査をして、賞をあげるというのはいかがか。八王子市の観光イベント情報をみると9月だけ何もないので、夏休み最後の週はどうだろうか。</p> <p>(長谷川 たか子)</p>	<p>音楽はいいですね。ご提案の件は、地域のみなさんと相談していただきたい。小田野中央公園を造られた皆さんはすごいと思う。八王子で初めて、大型公園を地域の皆さんが、行政と対等の立場でタイアップをしながら造っていただいた。この地域の地域力のすごさに、改めて敬意を表したい。これから、小田野中央公園をどう活かしたまちづくりをしていくのかという次の段階に入ってきた。市からもわずかであるが、補助をさせてもらっている。地域で今取り組んでいるみなさんと、十分にディスカッションをして深めていただき、皆さんが本当に喜んでいただけるようなバンドができればいいなと思う。</p>	<p>市民活動推進部 まちなみ整備部</p>

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
32	<p>【竹塀について】</p> <p>竹塀を提案する。青竹の持つ生命力。竹は人を招く力がある。物と呼ぶ力がある。八王子は竹の産地。心を温暖化させる八王子、あきさせない八王子でいい。似合う風景が多い。都会のなかの自然と共存するまちとして質を高めていけたらいいと思う。現在、生垣に支援されている分を広げていただきたい。竹は10年計画で観光も考慮に入れて支援をいただきたい。</p> <p>(長谷川 たか子)</p>	<p>竹材をもっと活用しようというのは、面白いんじゃないですか。竹の効用は、竹炭なんかも良くいわれているし、いいことだと思う。そういうことに興味をもっていただける方には、趣味や取り組みのひとつとしてやっていただけたらいいと思う。竹塀の補助となると、検討しなければならない。今、生垣の補助制度はあるけれど、緑化と安全という面で補助している。竹塀の風情というのはあるけれども、地域で竹塀でまちづくり、まちおこしをみんなで考えていきたいというのであれば、まちづくり推進条例の活用をして応援できるということもあるのではないかと思っている。</p>	まちづくり計画部
33	<p>【小仏バス停のトイレについて】</p> <p>裏高尾町の終点小仏バス停に、現在仮設トイレがある。以前はなく、よく自宅に多くの方がきて困って、市に依頼して造ってもらった。何年経っても仮設トイレである。ぜひ、水洗のトイレを造ってほしい。できたら休憩所を兼ねてできたらいいと思っている。近くの川を整備し、魚を放流して観光客が魚を見ながら歩いたら、なかなか良いところではないか。</p> <p>(高山 芳良)</p>	<p>小仏バス停のトイレはバスの運転手用で、それを観光客に一般に開放している。裏高尾にも観光客がたくさん来ている。トイレやベンチも必要だろうと思うし、必要性もわかる。下水管がそこまで入っていないので、水洗というわけにはいかない。優先順位もあるが、必要性はこれから高まっていくと思うので、前向きに検討したい。</p>	産業振興部
34	<p>【新体育館について】</p> <p>京王線の狭間駅前ができる新体育館。土地は2万5千㎡。決まったことは、第1アリーナ2700㎡、第2アリーナ1800㎡で、共に2階にして、第1アリーナの下は駐車場、第2アリーナの下に多目的ホール等を造るという内容。多目的ホールの内容であるが、間仕切りをしてたくさん使えるようにしようとしている。私は、第3アリーナとして間仕切りがなく、冷暖房完備のものを造ってほしい。</p> <p>(高山 芳良)</p>	<p>新体育館は、第1アリーナ・第2アリーナ・多目的室になる。多目的室は、そっくり広げても使えるように、あるいは区切っても使えるようにするのが妥当だと思う。既存の体育館と両方で補い合えるような関係になる。多目的ホールとして利用できるようにし、大きくも小さくも使えるようにする。そうするほうが、一番使い勝手が良いのではないか。</p>	生涯学習スポーツ部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
35	<p>【水とみどりに親しむ回廊づくりについて】</p> <p>郊外の緑が変貌してきている。コンクリート・アスファルトに覆われた土地が広がっている。そういう中で、この地域に魅力を付加するために、水とみどりに親しむ回廊づくりを提案する。具体的には、浅川が創り出した流域景観の保全地域を指定する。切り通しから西寺方町大幡への遊歩道を整備し、洪水時水没橋を架設する。切り通し～瀬戸川～遊水地～さげ坂～浅川破断層～採草地を巡る遊歩道を造り、つなぎあわせる。浅川破断層の下流に吊り橋を設置する。そして、次の世代にこの地域遺産を引き継いでいく仕組みについて、検討して欲しい。</p> <p>(渡邊 章夫)</p>	<p>私も同感である。八王子の一番の魅力は、豊かな緑・自然であるから、これから積極的に緑の保全、自然を活かしていくということは大事にしていきたいと思っている。水とみどりに親しむ回廊づくりは、おもしろいじゃないですか。素晴らしいアイデアを活かした検討をしていきたいと思う。まずは、環境を保存することが大事なことで、そういう視点も大事にしながら努力をしていく。沈下橋(水没橋)は、流水を阻害するため、河川管理者の承諾は得られにくいと思われるが、管理者である都に提言したい。採草地近辺の話についても、具体的なアイデアを聞き、できるようだったら取り組みたいと思う。</p>	環境部 まちづくり計画部
36	<p>【開発について】</p> <p>切通しの北側は、新都市建設公社の土地。上壱分方小の前は、東京都住宅供給公社の土地。これらは、都市整備をするという素案で確保されている。利益優先の開発計画、これから方向を転じなければならない時代的ニーズがある。こういうところにも着目しなければならない。洪水の話があったが、方法によって洪水を下流にもたらしことは避けられる。問題は、上流の水源地の保水機能が損なっているところである。開発で大地の保水機能を失ってしまった。行政の施策のツケが回っているだけの話である。そういう所も広く深くディスカッションしながら、公共的な視点に眼をむけながら、国・都・市の情報交流をもっと盛んにしてもらおうとありがたい。</p> <p>(渡邊 章夫)</p>	<p>おっしゃることは、一定の理解はする。私は、全面的に是認する訳にはいかない。利便というものを享受しているということもある。開発についても、市街化調整区域と市街化区域ときちんと分けて、市街化調整区域については自然を守るという視点で、開発を制限している。しかし、一定の規制はあるが民有地に住宅を建てたいといったら、これを制限するという事は難しい。これからは視点を変えて、今おっしゃることにつないでいくかが課題であろうと思っている。採草地も、ニーズが変わってきたのだから、あのまま残してくれる、市のほうに寄付してくれるという話になれば、私はありがたいことだと思う。都の将来にむかっただけの考え方を伺いながら、できれば私もそのようにしていきたいと思っている。</p>	環境部 まちづくり計画部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
37	<p>【高尾山について】</p> <p>ミシュランに取り上げられ、都心に近い山として、高尾山がとても注目されている。メディアにもとりあげられ、外国人の観光客も増えて嬉しいと思う。高尾山を八王子の顔として、観光・環境の面からアピールしてほしい。一方、圏央道によって、環境悪化が懸念される。素晴らしい山が環境破壊によって、未来に禍根を残さないように、慎重な対応をお願いしたい。</p> <p>(桑原 みどり)</p>	<p>高尾山については、圏央道ができるが、今の自然環境を大事にしていかなければいけない。国交省にも、圏央道の利便性も貴重なものであるが、そのことによって高尾山の環境が破壊をされることのないようにと常に話している。環境を損なわないように、最小限にとどめるように、これからも強く話をしていきたい。高尾山の自然が侵害されるような事になったら、私は許せない。これからもそういう努力は続けていきたい。</p>	産業振興部 まちづくり計画部
38	<p>【恩方第二小へのバスについて】</p> <p>特認校制度を取り入れて、八王子全域から恩方第二小に通学できるようになって12年目に入った。全校生徒の半分位がバスで通学している。2年前の路線バスの変更で、高尾駅北口から陣場高原下までの直通になり、京王八王子駅から直通であったバスが大久保で乗り換えになっている。よって、恩方第二小を希望していながら、あきらめるといふ家族がいる。学校選択制も始まり、子どもたちの希望が聞かれることは嬉しいが、路線の問題でかなわないこともある。通学時の朝7時台にミニバスでも良いので、関場まで出してくれると嬉しい。子どもたちの未来のために善処願いたい。</p> <p>(桑原 みどり)</p>	<p>よく承知している。教育委員会のほうから教育長の名前で、西東京バスに「登下校時のバスの確保」ということで書面でお願いしている。規制緩和は、いい面もあるが悪い面もある。規制緩和によって、採算性の高い路線には新たな路線を加えることができ、採算が厳しいところは止めることができるようになった。新たな視点からの路線の維持・確保に努力をしている。色々な方法を考えながら、試行錯誤していきたい。ミニバスという話もあったが、何人利用するのかという問題もあり、少なければ乗り換えもやむをえないと考えなければいけない。バス会社とも相談し、市の一定の支援をして、できるかどうかの検討をさせたい。</p>	まちづくり計画部 学校教育部
39	<p>【サイクリングロードについて】</p> <p>恩方地区には北浅川が流れ、下水の完備とともに、少ないが蛍の飛び交う素晴らしい地区である。市と市民の協働により、小田野中央公園という素晴らしい公園が出来た。サイクリングロードは是非とも進めてほしい。せっかく協働活動の成果である小野田中央公園があるのだから、それに連なる上下流域に是非とも歩行者優先の道路建設を積極的に取り組んでほしい。</p> <p>(関口 眞吾)</p>	<p>サイクリングロードを増やしていくのは大賛成である。エコ社会を作らなければならないから、町の中を含め、車よりも自転車で走行できる場所や環境を可能な限り作っていきたい。陸北大橋から上流については、浅川ゆったりロードの整備が位置づけられており、手作り公園もあるので自転車優先道路の整備が必要だと思っている。河川敷内に民有地が多く、なかなか解決できない。できるところは自転車道路の整備をしていくべきだ。</p>	まちづくり計画部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
40	<p>【川の保全について】</p> <p>北浅川は市の管轄ではないだろうが、虫が出る川を大切にしたい。先日、川原宿大橋前後で、川を重機で掘り返し流れを整える工事をしていた。治水は大切だが、川の動植物を傷つける工事は避けるべきである。市では、そのような工事をどう捉えているのか。これらは、市民の大切な財産である。積極的に川の自然を守る対応をお願いしたい。自然豊かな川がますます豊かになるように、上流から下流にかけて市民が手を取り合える取り組みができればと思う。</p> <p>(関口 眞吾)</p>	<p>河川の工事は、治水ということを考えなければいけない。もし被害が出ると、責められるのは行政である。地域の安全・安心の確保というのが第一義的にやらざるを得ない。と同時に、親水とか利水ということを、最近も国も都もはっきり打ち出しているから、整備をするにしても生態系に配慮した工夫をしている。これからもその姿勢を保ち続けていきたい。大事なことだと思う。虫は、これから復活させなければいけないと思っているひとつである。みなみ野の開発をしているが、虫がいる所を保全している。地域の人達が、新しい住宅を開発してもその地域はきちんと残して、大事にしている。市内でもいたるところにそういうところがあるので、これをなくさないように、これから大事にしていく努力はしっかりしていく。</p>	まちづくり計画部
41	<p>【保健センターについて】</p> <p>八王子市は子ども家庭支援センターが出来て以来、子育て支援に関しては他の市区町村よりも先駆的に組織も内容も充実してきていると思う。生まれたばかりの赤ちゃんとお母さんの健診あるいは妊婦の相談に行く平岡町の保健センターが、古くて老朽化して狭くて暗い。駐車場も隣にある子ども科学館を使っているが、距離もあるので、雨や雪が降ったときに赤ちゃんや荷物を持って抱えての移動は大変だと思う。ぜひ長い視野で保健センターの改築工事あるいは新築、そして隣接するお母さんや赤ちゃんの使いやすい駐車場というのを御一考していただきたい。赤ちゃんとお母さん・妊婦さんにやさしい八王子であってほしいそんな事業展開にしてほしいと思う。</p> <p>(松崎 雅子)</p>	<p>私も全く同感。いろいろ取り組みを先駆的にしており、そういう点は評価を確かにいただいている。ただ保健センター、やっぱり問題である。昭和54年に作られたものでもう29年経っている。私も一度現地をよくみた。とりあえず、乳児の検診については、利便性の高い保健所でやろうと今、進めている。まだ具体的な計画には載っていないけれども、保健センターは建て替えをする。課題は、保健所を引き受けたが建物も老朽化している。あの地区に保健所をこのまま置いておくのがいいのか、保健所と保健センターをひとつの施設の中にいれたらいいのか、ということも早急に検討課題として、取り組む。できるだけ早い時期に方針だけでも出す。これでいいとは全く思っていない。</p>	健康福祉部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
42	<p>【八王子城跡調整ダムについて】</p> <p>城山八王子城日本百名城選定記念 八王子城跡調整ダムを新設願いたい。効果は、大雨洪水による城山川の氾濫被害から、下流の住民を守り常時清流の喜びを与える。此の新設された調整ダムに湛えられた水は、城山八王子城跡に日本百名城の風情を添える。滝山城跡は多摩川を望み見るけれど、今の八王子城跡には水の風景がなくてもの足りないが、この調整ダムの水は登山道のどこからでも、山頂でも八王子城跡のどこからでも良く見える。是非一度見に来て、検討していただきたい。</p> <p>(飯田 英一)</p>	<p>八王子城は国の史跡になっているので、扱いは非常に難しい。駐車場ひとつ作るのも簡単にはいかない。先日名城百選に選ばれてから、駐車場もなくて困るということで、造形大学の跡地の一部を駐車場にさせてくれと国としつこい交渉をした結果、国の理解をいただいた。国の許可というのは、非常に大事なことであるので、内容を検討させていただきたい。</p>	まちづくり計画部
43	<p>【街路灯の管理について】</p> <p>街路灯の管理について、高照度型の街路灯への切り替えをすすめている。明るさが2倍になって、電気量が半分になるらしい。市が半分負担してくれる。街路灯の市の補助は、電気料は全額負担してもらっている。機器の交換や新設は、頭打ちがあるが半額市が負担するとなっている。町会の負担は大きい。町会を抜ける傾向がある中、町会に入っていない人は街路灯の負担がない。不公平な不平等な体制になっていることが、納得いかない。平等に負担する方法はないものか。街路灯の設置費用を町会が負担していることを知らない住民が多い。もっと宣伝をして、町会の加入をさせていく施策をとるとか、公平性を前に推し進められる方法を、市のほうでも考えて欲しい。</p> <p>(塚原 京史)</p>	<p>確かに町会に入っていない人は、こういうことを知らない。関心を持ってもらえない部分もある。理解をしてもらえるようにPRしてもらえないかという話もきている。もっと、町会自治会の活動の内容やどういうことに努力をしているのか等を、広報等でPRする。これは大事なことだと思う。八王子は幸いにして、地域コミュニティが確立をしている。よそのまちに比べると、非常に恵まれた地域だと思う。多くの人に加入してもらって、町会・自治会のありようを理解していただき、協力いただくのは大事なこと。提案いただいたことをきちんと理解し、取り組む。</p>	総合政策部 市民活動推進部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
44	<p>【川口川の整備について】</p> <p>川口川の両側の堤の上は、遊歩道のようになっていて、人々が健康のために歩いている。ところが、堤の一部が崩れている。そこにマンホールを一本入れ、上に橋を架けてもらえばちゃんとしたものができるだろう。川口川は、高尾橋までは整備ができたらしいが、それより上の山王橋までは全然手がついていない。今、崩れているところは、もし台風などがきた場合、完全に崩れ、私の家はいっぺんに流れてしまう。手をうってもらいたい。(大原 正)</p>	<p>場所は、川口町 - ですね。今、聞いたばかりで承知をしていないので、現場を確認させます。河川の整備というのは、下流からやってきている。あるいは危険性の異常に高いところはもちろん、下流からということではなくて手をつけている。</p>	環境部 まちづくり計画部
45	<p>【研究会について】</p> <p>採草地、私は草原と呼んでいる。見事な自然が展開している所。ここがいつまでも残っていたらいいなと実感している。水とみどりの回廊を作るのには、最適な場所である。さきほど、研究会立ち上げの話があった。今まででも話はあったが、具体的になっていない。小田野中央公園でみせたように、地元と市との協働が初めからできるような研究会を是非立ち上げてほしい。(嶋津 雅照)</p>	<p>採草地は、市のものではない。東京都住宅供給公社のものである。それを勝手にいじるという訳にはいかない。東京都がどうするかが問題。私も意気込みはあるし、基本的には大賛成である。小田野中央公園のように地元と市との協働という話があったが、「そうですね。やりましょう。」とは、今の段階ではいかない。東京都住宅供給公社でも考えていることがあるのかなと思っている。もう少し、時間をいただきたい。</p>	環境部 まちづくり計画部
46	<p>【スポーツクラブと恩方音頭について】</p> <p>恩方夕やけスポーツクラブは、行政の指導の下、市全域に総合型のスポーツクラブを立ち上げようという一環で、昨年の6月に立ち上げた。各地域が頑張れば全体として「八王子力」がついてくるという考えで頑張っている。自主運営という立場であり、運営の費用もさることながら、会場の面、講師の面など行政にお願いする部分が出てくるので、これからもフォローをお願いしたい。恩方地域に「恩方音頭」があることがわかり、今年の地域の盆踊りで復活したいと考えている。作詞が中村雨紅である。7月19日に実施するので、是非参加してほしい。(前原 教久)</p>	<p>恩方夕やけスポーツクラブは2番目に立ち上げた。今、6か所になって、東京都で一番多い。八王子力というか八王子の地域力・地域のことを皆さん考えていると心強く思っている。皆さんが健康を維持していつまでも元気でいていただくというのが、医療費の削減にもなるわけだから、元気な八王子を作る為には大事なことだと思う。何が必要か、どういう支援をすればより活発な活動ができるかを整理して、皆さんの意見を伺って、できることをきちんとやっていきましょう。「恩方音頭」は、初めて聞いた。今年の7月19日の盆踊りには復活するのを期待して、お邪魔させてもらおう。</p>	市民活動推進部 生涯学習スポーツ部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
47	<p>【路上パフォーマンスできる場所について】</p> <p>まちの魅力はいろいろあるが、芸術家がいるのはまちの魅力のひとつだと思う。市街地に、路上でパフォーマーが演じられる場所を造ってほしい。</p> <p>(飯田 秀雄)</p>	<p>まちの魅力は多方面である。新しい魅力をつくっていくことも大事なことだと思う。パフォーマンスができる場所、本当は北口のペDESTリアンデッキをもう少し広くすればと、私は残念に思う。そうすれば、あそこでイベントができる。健全な場所で、車にも歩行者にも影響がなく、歩行する人が楽しめる、パフォーマンスする人が一生懸命やれる。今、南口で整備を行っているので、南口は本当の意味でのデッキにしようと思っている。そこがイベント会場になる。</p>	<p>市民活動推進部 南口再開発推進室</p>
48	<p>【青少対への補助金について】</p> <p>青少年を守る会、育成指導員、今は青少対の副会長をしている。川口地区の青少対では、子どもたちの健全育成とともに地域に啓蒙啓発活動を目的としてホームページを立ち上げている。青少対でやっている場合、個人がパソコンを持っており、それを使って発信をしているので、サーバーの料金とかが個人名でしか領収書がもらえない。いただいている補助金や活動費がつかえない。本当に必要なものが使えない。事務委託料とかではできないだろうか。使える予算をいただきたい。結局、役員が出合っている現状である。</p> <p>(原島 元義)</p>	<p>地域の青少年育成にご尽力いただき、大変感謝申し上げます。補助金・公金は、税金だから使い方が厳しい。皆さんが真剣に考えてその必要資金・活動資金ということになると理解されやすいと思うけれども、それが個人名でというのはお金の使い方がどこまでの範囲になっているかという問題がでてくる。行政としても、金額はいくらにしてもお金を出すということは税金の使い道のひとつであるから、どなたにも理解をしてもらうような使い方であればいけない。プラスになるようなことだったら、前向きに考えなければいけないと思う。あとは仕組みづくりだと思う。担当のほうに話をするので、知恵を出し合って仕組みづくりをしましょう。</p>	<p>こども家庭部</p>

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
49	<p>【エコキャップボランティアについて】</p> <p>エコキャップボランティアとして、東京養育家庭の会が子ども家庭支援センター6箇所収集ボックスを設置して活動していた。ところが、ここで活動をやめるとのこと。八王子市としてプラスチックなどの回収と同じく市民にペットボトルとキャップの分別を提案し、収集や運搬を市でできないか提案したい。ペットボトルのキャップは400個で10円になり、集まったお金は世界の恵まれない子どもたちのワクチン代になる。キャップは粉碎されて同じく粉碎された木材と混ざって、建材や文具に変わる。簡単に出来るボランティアだと思う。ペットボトルとキャップの分別が徹底されるといいと思う。</p> <p>(水科 優子)</p>	<p>子ども家庭支援センターでペットボトルのキャップを集めてきたのは、養育家庭の普及・PRが目的で、子ども家庭支援センターで場所を提供してきた。養育家庭の当初の目的が果たせたので、この運動をやめると聞いている。子ども家庭支援センターに面積的なゆとりがない。これまではかなり無理をして、集積場所の確保をしてきた。ペットボトルについては、無駄にしている。国の施策としてリサイクルの目的に沿って行っている。みなみ野君田小で、このキャップを業者に販売して、アフリカの子どもたちのワクチンにしているのは承知している。ボランティアとして、このようなことをやっていただくのは良いこと。出来ることは協力させていただきたい。ボランティア団体が主導して、行政として協力できることがあればと考えている。ペットボトルとキャップの分別が徹底できるようにPRしたい。</p>	環境部 こども家庭部
50	<p>【喫煙マナーについて】</p> <p>子どもを産んでから、マナーの悪い喫煙者や煙が気になる。吸っている人よりも煙を周りで吸っている人のほうが身体が悪くなるのが現実である。八王子の駅前みたいに、八王子全体としてなんとか対策を考えて欲しい。タバコのポイ捨てが減ることもつながる。タバコのポイ捨てを防ぐ対策を、八王子全体として考えて欲しい。</p> <p>(水科 優子)</p>	<p>煙草が嫌いな人や煙草の健康被害を強く考えている人にとっては、大変な問題。嫌煙家の人が多くなったので、できるだけ吸う場所を限定してマナーの向上に取り組んできた。本来であれば、煙草を吸う人のマナーの問題。八王子市全域、歩きタバコは禁止である。何度も広報等でお知らせしているが、目の前に歩きタバコは禁止と書いてあっても吸う人がいる。すべての面で、マナーの向上というのは必要なことだと思う。喫煙者のマナーアップについては、これからも機会を見て取り組んでいきたいと思う。罰則でというのは、なかなかできにくい。色々な機会にPRをしていきたい。</p>	環境部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
51	<p>【石平道人について】</p> <p>多摩御陵内にある「堅叔庵跡」や長泉寺にある鈴木正三こと石平道人に関する文化財の表示物設置等の整備公開について検討してほしい。市でも関心をもって広報活動をやるべきではないか。市では何もしていない。もっとPRしてほしい。</p> <p>(井上 篤)</p>	<p>江戸時代の初めに、石平道人という高僧が八王子に足跡を残され、堅叔庵という庵が江戸時代を通じて存続していた。市では、石平道人の墓などを文化財に指定し、保存と普及に努めている。平成16年9月1日号の「広報はちおうじ」で、歴史の散歩道で禅僧石平道人ということを書き取りで取り上げている。これで十分ではないと思うが、機会をみて多くの市民に歴史と石平道人がどういう方で、どういう功績があったのかお知らせをすることを考えてみたい。正直いって、今回の話をいただくまで承知していなかった。今回勉強になったことを活かしていきたい。</p>	生涯学習スポーツ部
52	<p>【プラスチックごみについて】</p> <p>家からでる不燃物の中で一番多いのが、商品の包装に多いプラスチック・ビニール系シール等である。商品の過剰包装は、目に余る。2～3年後に、プラスチック等は圧縮梱包によりリサイクルできると聞いている。その間、埋立て処分を軽減するため、焼却は考えていないのか。焼却により発電できるのであれば、ひとつの方法だと思う。現在、日の出処分場で埋立て処分をしているが、自前の処分場がないことが問題だと思う。また、家庭ごみの処理を一律税金で賄っていることは問題で、家電リサイクル法と同じく、商品の購入者すなわち受益者負担の制度が必要だと思う。</p> <p>(水野 康直)</p>	<p>生産者と消費者の両方がかみ合わない大きな効果は出ない。レジ袋の有料化について、東京都全体もしくは多摩地域で実施できないか提案していきたい。八王子市では職員が一軒一軒エコバッグを配っている。それを活用して、できればレジ袋を廃止したい。作る側も、ゴミになるものは作らないということを徹底できるのではと思っている。プラスチックごみについては、資源化するマテリアルリサイクルと汚れてリサイクル出来ない物を燃やし熱源にするサーマルリサイクルがある。戸吹は発電し場内で使っている。可燃ごみを40%減らし清掃工場をひとつ減らし、財政的にも環境にも貢献できると思う。最終的な処分は、日の出の二ツ塚処分場で埋立てをしている。エコセメントの生産などで埋立て量を少なくし、長く使えるようにしている。また、将来に備えて戸吹町に最終処分場用地を確保している。</p>	環境部

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
53	<p>【防犯について】</p> <p>防犯に関することで、近所に問題の人がいて怖い思いをしている。そんな人がいたら、八王子の印象も悪くなるし、危険な人なのでなんとかしてほしい。地域でも様々な問題を起こし、対応に苦慮している。</p> <p>(斉藤 節子)</p>	<p>大変お困りになっているというのはわかります。そういう危険な人はどこにでもいる。地域でお困りになっている方は、たくさんいると思う。この扱いは、人権の問題もあって難しい。私のほうから高尾署の署長に話をしておくので、相談してほしい。</p>	生活安全部 健康福祉部
54	<p>【階段のスロープについて】</p> <p>教育センターと児童相談所の間から広園寺入口交差点に降りる階段がある。そこを、自転車を上げ下げしながら通っている。スロープがあれば楽になり、安全・利便性に配慮するために、ぜひ幅 30cm ぐらいのスロープを作って欲しい。環境にやさしい自転車の利用の促進にもなる。</p> <p>(島崎 貞祐)</p>	<p>あの階段は高低差 13mある。本来自転車は無理である。よほど体力がある人でなければ上がれないし、危険である。スロープをつけたらかえって危険である。あの場所で、自転車で怪我したら、市が管理責任を問われる。子どもなんか上から自転車に乗ったまま降りてくるだろう。怪我をしたら、行政は責任を問われる。あそこは、歩いて使ってもらうのが一番良いと思う。</p>	道路事業部
55	<p>【観光資源としての高尾山の活用について】</p> <p>自然豊かな高尾山という資源を活用した、まちづくりをしたらどうかということ、高尾山に観光客が集まる宣伝活動について提案したい。高尾山の宣伝を大々的に行う必要があるのではないかと。大胆かつ派手に行うべきである。「高尾山の観光客年間倍増 500 万人作戦」のスローガンを掲げ、積極的に取り組む姿勢が必要ではないか。高尾山の価値観を行政がどのように設定するかが大きなポイントである。決め手である「東京のオアシス高尾山 八王子」のキャッチフレーズはいかがだろうか。</p> <p>(横沢 勝弥)</p>	<p>基本的には大賛成である。今、一生懸命売り込んでいる。京王電鉄とのタイアップで中吊り広告を入れたり、各駅に広告をだしてもらい、パンフレットも4か国語で作っている。国土交通省が今年3月に選定した「外国人で賑わうまち」全国36か所のひとつにも選ばれている。国でも海外にむけてPRしている。これから、「高尾の里拠点施設」整備計画を進めていく。都心から電車で1時間で、気軽に来ることができる手軽さが良い。お客が増えている。課題は、できるだけ周辺にも回っていただけるように工夫をしながら取り組んでいる。これからも努力をしていきたいと思っているので、ご支援をお願いしたい。</p>	産業振興部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
56	<p>【自治会の自主運行バスについて】</p> <p>紅葉台自治会では、開発以来 30 年以上経過し、当初から公共の交通機関がなく坂道も多く高齢者も増え、バスの必要性が高まり、平成 14 年の 10 月から自治会独自で循環バスを運行している。今や自治会にとっては、なくてはならない足となっている。若干の赤字になっているが、業者の努力によって何とか運営を続けている。運営の存続にも苦慮している状況。今更なくす訳にはいかない。存続のために、市の支援・協力がいただけないか。</p> <p style="text-align: right;">(片桐 亮)</p>	<p>紅葉台自治会で循環バス自主運行されているのは、よく承知している。皆さんの努力に敬意を表したい。規制緩和の関係で、採算が採れないところはやめてしまう。車を持っている人が多く、バスを使わないため、維持が難しくなってきた。なくならないために積極的に活用しようという姿勢がない。運行が難しくなるのではないかと思っている。タクシーを活用するなど新しい方法に取り組んでみようと思っている。紅葉台自治会で循環バスを自主運行されているのは、大変苦勞されているのだろうと思う。同時に、いつまでも続けられるかどうかは他の地域の例から見ても心配をする。どういうシステムを作るかというのはこれから考える。支援を出来るような体制を考えていきたい。そうしないとたないと思う。これは考えてみたいと思う。検討させて欲しい。</p>	まちづくり計画部
57	<p>【高尾の里について】</p> <p>高尾の里拠点施設基本設計が平成 18 年度から開始されている。20 年後の姿というのがホームページに載っている。高尾山に登るだけでなく、帰りには必ず寄ってほしい。車人形や陣場太鼓の公演、20～30 代の 4 人に 1 人は独身なので合コンハイキングをして帰りはパーティを行うとか、八王子の食事所を集めてやるというようなことをしたらどうか。駐車場を広げるにあたっては、自然を絶対に破壊しないように、ぜひ行ってほしい。</p> <p style="text-align: right;">(峰尾 隆幸)</p>	<p>駐車場の件は、今の駐車場を広げ機械化をしてもう少し合理的にやろうと思っている。具体的に検討している。高尾の里づくりの活用方法は、これからいろいろ地域の方たちからもお知恵を借りながら考える。幅広く高尾の活性化のためにプラスになるようなことを、皆さんで知恵を出していただいて、良い運営ができたらなと思っている。自然破壊はまったく考えていない。今以上に木を植えたりして、みどりを増やすような方向で進める事になっている。</p>	産業振興部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
58	<p>【石平道人の顕彰について】</p> <p>石平道人こと鈴木正三は、非常に立派なお方であった。お墓が市の史跡の7号で指定されている。鈴木正三を顕彰すべきである。心を失ってきた現代に、もう一度良く顕彰しなければならない。境内に大きな古木があり、いつ倒れるかわからない。素人では切れないので伐採してほしい。</p> <p>せっかく史跡になっているのだから、お墓の整備をお願いしたい。史跡に興味を持ってほしい。北条氏照の家臣であった井上出羽が呼んだ。井上篤さんは数えて18代目で、子孫ということもあり、ご一考願いたい。史跡として指定した市の最低の責任だと思う。</p> <p>(篠原 清彦・福島 得治)</p>	<p>今日は良い勉強をさせてもらっている。私も、今回の話をいただくまで石平道人のことを知らなかった。八王子には顕彰すべき大事なものがたくさんあるのだと改めて感じた。古木については、長泉寺の境内なので長泉寺に言ってほしい。危険性があるのであればなんとか処理をしなければならないが、管理が長泉寺なので勝手に切るわけにはいかない。長泉寺に言って、長泉寺から市のほうに話をしてほしい。現場をみて考えてみる。</p>	生涯学習スポーツ部
59	<p>【学校選択制について】</p> <p>館小と館中が近いうちに統合されると聞いた。今年の館中の1年生は、26人だった。6年生が館小を卒業して、他の中学に行っている。どうしてかと聞いたら、生徒数が少ないので館中に部活がないからとのこと。隣の横山第一小は、パンク状態なわけである。学校の自由選択制ができてから、このような現象が方々でおきている。地方の山間部での統合・廃校は理解できるが、大都市の八王子市でそういう事になっているということが、想像がつかない。元に戻すことはできないだろうが、学区割りを変え、振り分けを昔のようにできないだろうか。</p> <p>(梶 哲雄)</p>	<p>今、学校の統廃合は検討せざるを得ない状況である。少子化が進んでいるから、児童数が少ないと教育の場所として機能しなくなってしまう。八王子市内でも、住宅が出来て子どもが増えたため増築をしたり、新たに学校を作っている地域がある。一方では、子どもが減り、過疎化が進んで統廃合のやむなきに至るといった場所もある。学校選択制というのは、今の流れの中では一定程度はやむを得ないと思う。適正配置を今検討している。年内には結論が得るのではないかと考えている。子どもの学習環境を可能な限りよい環境にするということを前提に検討するので、少し時間をください。</p>	学校教育部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
60	<p>【はちバスについて】</p> <p>丸山町・久保山町・小宮駅まで、はちバスを通して欲しい。久保山町から 10 分、丸山町から 20 分歩いてかかる。バスを利用して、近い日野駅に行き立川に買い物に行ってしまうがちである。八王子の駅前をもっと栄えさせるためにも、はちバスを通して集客し、魅力的な八王子のまちづくりをしていただきたい。</p> <p>(渡辺 千恵子)</p>	<p>はちバスは、交通空白地区という既存の路線バスが運行できないルートで行っている。現在 2 路線で実施しており、色々要望もあるが難しい。地域の皆さんからも話を伺い、公共交通を補完するミニバスの専門の大学の先生の知恵もお借りし、現在の 2 路線が決められた。八王子市は広いので、全ての地域で空白地域をなくすのは難しい。現状では、はちバスの新しい路線は考えていない。いずれ考えていく必要があるのではないかと。</p>	道路事業部
61	<p>【図書の返却BOXについて】</p> <p>図書の返却BOXを設置してほしい。八王子は 50 万都市であるが、図書館が 5 つしかない。これは、多摩地区の中でも少ないほうだと思う。せめて、返しに行くのが大変なので返却BOX設置をお願いしたい。ちなみに、近くのスーパーアルプスでは、空きスペースに返却BOXを置いてもいいとの返事もらっている。</p> <p>(渡辺 千恵子)</p>	<p>図書館は、これからも機会をみて充実させていきたい。「読書のまち八王子」というのを打ち出しているのだから。図書をなかなか借りられない、返す術も少ないのでは納得していただけない。返却については、石川市民センターで受け付けている。民間の場所を借りてというのは八王子では行っていない。スーパーアルプスで置いてもいいということは初めて聞いた。それも含め、利便性の向上のために検討する。</p>	市民活動推進部 生涯学習スポーツ部
62	<p>【八王子小児病院の存続について】</p> <p>2010 年 3 月で廃止予定の八王子小児病院を残してほしい。29 年前は、障害のある赤ちゃんを診てくれるところがなく、御茶ノ水まで通った。八王子小児病院に専門医が来てくれ、障害をもつ子の親は喜んだ。その後、高尾駅南口の都有地に小児病院を移転拡充するという話があり、大喜びした。ところが都の態度が急変し、清瀬と世田谷の梅が丘と八王子小児病院を統合し、府中に造るという計画が発表された。本当にショックを受けた。昨年府中の小児病院医療センターの建設が始まったが、私たちはあきらめられない。何とかもう一度、市長が先頭に立って八王子・三</p>	<p>市長になって一番残念なのは、小児病院の問題。都議時代に携わっていて、90 床を 150 床にして周産期医療が出来るような病院ということで、東浅川に場所を移し規模も面積も発表までしてくれたのが変わってしまった。産科・小児科の医者が極端に少なくなってきたことが背景である。今のままだと 3 か所ともギリ貧になってしまう。小児病院だけではなく、総合的に連携がとれるように府中に大型のものを造るということ。府中の病院は既に進んでおり、これはもう進めるべきであろう。後は抜けた穴をどうするかが課題で、今、全力で取り組んでいる。協議を進めており、近いうちに方向性が</p>	健康福祉部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
	多摩の子どものために頑張ってもらいたい。 (矢代 美智子)	示せるのではないかと考えている。	
63	<p>【都用地の開発について】</p> <p>道の駅ができ、大変賑わっており結構なことだと思う。その南側の地区の都用地の開発について質問したい。大きいショッピングモールができるとか、入るとされる企業名も具体的に耳にするようになった。あの地区の開発の進捗というか、具体的にどのくらい決まっているのか、そのスケジュールも含めて聞きたい。併せて、開発といえばメリット・デメリットがある訳であるが、その辺についての市長の考えも聞きたい。</p> <p>(杉山 由紀男)</p>	<p>あそこは魅力的な場所である。加住地区と市街地がつながり、非常に便利になり、あの土地をどう開発するかというのは非常に重要な案件だと思う。東京都財務局が普通財産として管理している。これを市の考え方、市のまちづくりの計画に沿ったところに、入札により高値で売りたいとのこと。中心市街地等活性化検討委員会から活用方法について提案をいただいている。ショッピングモールそのままとは考えていない。しかし、ショッピングは集客に大事なことなので、そのことも含め提案が出ているのは、レクリエーション施設・アミューズメント施設・アメニティ施設である。交通の利便性を考えた時、八王子だけでなく多摩地域全域にも影響があるのではないかと。そういうことを視野に入れながら考えられるような活用方法を、市の考え方を入札に参加する企業に説明し、それを理解した企業が都の入札に参加する。こういう順序になる。時期的には、市の考え方を確認にくるのが来月くらい。それから東京都が入札をする。時期はわからないが、年内決着がつくのではないかと。提案について精査し、地域の皆さんにも喜んでいただき、よそからもお客がきてくれるような、中心市街地の商店の皆さんにもプラスになるような、難しいがそんな施設を誘致できないかと期待している段階である。</p>	まちづくり計画部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
64	<p>【緑地・公園の緑の保全について】</p> <p>八王子市の緑地・公園の緑について、事例をあげお願いをしたい。平成 18 年の春に宇津木台西公園・中公園・東公園で、一斉に大型の木が伐採された。昨年、公園課にクレームをつけた。今年の 5 月、宇津木台緑地境界線を奥行き 10m にわたって、伐採してしまった。防犯や日当たりなどが理由に挙げられるが、皆さんが楽しんでいた椿などの小灌木まで根こそぎ全部やられてしまった。メンテの金がかかるが枝打ちでもできる。管理の煩わしさや予算の問題はあるかもしれないが、緑を保護する立場の行政をすすめてほしい。</p> <p>(松本 健彦)</p>	<p>地域の皆さんからの要請や、通学路等で子どもの安全安心のために懸念される所は、そこまで切らなくてもいいのではというところまで伐採している例もある。私は基本的には、市街地の緑は残していこう、大事にしていこうと思っている。きめ細かな緑の管理をしていこう、これはご提案のとおりだと思う。八王子の緑を大切にしていこうという基本的な路線は大事なこと。これからも堅持をして、並木や公園の剪定をする場合、市民が最も八王子に住み続けたい理由のひとつが緑が多いということだから、これを私は裏切ることにはできない。そういう視点からこれからも取り組む。</p>	<p>まちなみ整備部 道路事業部</p>
65	<p>【用土地域について】</p> <p>新しく高速道路ができ産業発展が期待されるが、インターチェンジ付近は市街化調整区域ということで新たな建物が建てられない。おそらく物流センターができるのだろうが、その辺はどのようになっているのか。</p> <p>(佐藤)</p>	<p>都心からの 6 つの高速道路をつなぐ事業が進んでいる。道路が整備されれば、その周辺の土地利用が問題になってくる。用途地域は工場などができない所が多いが、計画的に上手に活用していく。新滝山街道ができ、圏央道のあきる野インターと中央道の八王子インターが結ばれると、企業は進出したいと思う。良い企業を誘致するための誘導ができるような用途地域をきちんと示し、将来ともに八王子の都市経営という視点で、持続可能な発展ができ、良い企業を誘致できるような誘導策をこれから考えていく。</p>	<p>産業振興部 まちづくり計画部</p>
66	<p>【資材価格高騰による契約について】</p> <p>石油の高騰により資材価格が上がっている。公共工事の契約後の資材価格の高騰への対応は、契約上どうなっているのか。</p> <p>(佐藤)</p>	<p>石油が高騰して資材が上がっている。特に鋼材の価格を見直すと同時に、入札が不調になっている。資材が高騰したため、手がだせないということ。都は、随時見直しをしているが、値上がりの変動が激しい状況である。工事は進めなければならないため、最小限の範囲で設計金額を見直している。今の喫緊の課題は防災対策だから、待つてはられない。現状で対応せざるをえない。東京都でも 3</p>	<p>財 務 部 学校教育部</p>

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
		割が不調になっている。落札者がいないとも聞いている。八王子も平成24年までには全部耐震工事を終わらなければならない。心配な点は率直に言っている。	
67	<p>【防犯カメラについて】</p> <p>公道に設置される防犯カメラだが、導入するのであれば、説明会を開いてほしい。</p> <p>(佐藤)</p>	<p>防犯カメラは、中心市街地には設置している。これは、地域の皆さんにもきちんと話をし、議会でも議論をしていただいた。当然、プライバシーの保護ということがあるから反対意見もあった。しかし、今、犯罪が起きた時の状況をみると、防犯カメラが解決の手段の非常に大きな力になっていることは、ご存知のとおりである。残念ながら、個人情報保護も大事なのだが、やっぱり防犯カメラの必要性が高まってきたといえる。プライバシーを無視していいとは思っていない。警察が犯罪の解決のために必要だという時に見る。そういう点は、ご安心いただきたい。</p>	生活安全部
68	<p>【指定管理者制度について】</p> <p>図書館や公民館に指定管理者制度の導入についても、説明会を開いてほしい。</p> <p>(佐藤)</p>	<p>指定管理者は進んでいる。国の方針でもある。指定管理者にすることによりサービスが良くなり、経費も安くなって、利用者にとってプラスになるというものもある。しかし、何が何でも公の施設を民間に任せればいいとは思わないのではと思っている。公が直接運営をしても利用者に納得してもらえらる態勢を作ることのほうが大事だと思う。図書館は、京王沿線7市が共同利用できるようにした。年中無休なのは八王子だけで、夜も8時まで毎日やっている。経費も休んでいた時と変わらずにできる。これが工夫だと思う。八王子はリーディングシティだと思った。ですから、図書館を今のところ指定管理者にするという考えはない。工夫して密度の高いサービスが提供できるようにしていきたいと思っている。</p>	<p>総合政策部 こども家庭部 生涯学習スポーツ部</p>

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
69	<p>【宇津木の区画整理について】</p> <p>宇津木町は、区画整理の対象ということで話があった。最近、下水管が完全に埋設された。ただ、実際には水が流れていない。今年の予算はいくらついたのこのところを工事するという便りをいただいたが、今後どのくらいの年数がかかって区画整理が進むのか、全然予想もつかない状態なので教えてほしい。</p> <p>(永井 洋子)</p>	<p>宇津木の下水道はご迷惑をかけている。率直にお詫びする。区画整理は手を広げすぎた。目に見えた進展のため、少しずつ進めている。最初に終えるのが上野町で、1～2年でできる。可能な限り、予算をつけてやっている。下水道は二重投資になってしまうから、区画整理の整備と併せて埋設する予定であったが、それを待っていては皆さんが待ちきれない。二重投資になっても一定の期間が必要であるから、埋設しようということで始めた。</p>	環境部 まちなみ整備部
70	<p>【高尾山の伐採について】</p> <p>高尾山について、表示板とか階段とか案内板はすごくきれいになって道も整備されていた。山頂から城山の方に歩いたら、城山では木が随分伐採されていて、赤土が見えていた。観光地なのはわかるが、今までの景観が少し変わってしまうのではないかということも考えられる。その事について尋ねたい。</p> <p>(永井 洋子)</p>	<p>高尾山の伐採は難しい。「関東の富士見百景」に、高尾山から見る富士山が選ばれた。そこで行ってみるが、木が生い茂っていて見えない。「少し切れ」という声もあり、国有林なので国と相談し、切ってもらふことにした。周りが木だけで富士山が見えないのでは困る。最小限の対応はせざるを得ない。伐採は、森林の通気・育成の目的もあって行った。森林を元気にするための面であり、観光目的では伐採していない。</p>	産業振興部
71	<p>【滝山城について】</p> <p>滝山城に関して市長が宣伝してくれ、多くの人を訪れるようになった。市から補助金をもらい、「よみがえる滝山城 - 戦国の風雲を駆け抜けた天下の明城 - 」という本を出版した。その中で、滝山城に至る7コースを紹介しているが、未発掘な部分が多く、歴史的にきちんと証明しきれない部分が多い。訪れた人が納得できる部分が今ひとつではないか。市で案内板等を各所に設置し、わかりやすい説明をつけられないか。発掘を進めて、より多くの人八王子を訪れてもらえるような取り組みができないものか。</p> <p>(西山 富保)</p>	<p>滝山城は宝のひとつである。大切にしていけることは重要だと思い、滝山城を一生懸命宣伝している。土の城としては日本では最も優れた城だと専門家が認めている。木を切っていたら土塁の一部が出てきたと報道されていた。未発掘の部分が多いのはそのとおりだと思う。ロマンがあってもいいじゃないですか。案内板をという具体的な話だが、積極的に努力したい。解明できる場所は解明して、その魅力の度合いを高めていくことは大事なこと。看板等で多くの人に知ってもらうのは、八王子の宝を磨いていくということになるのではないかと。これからは知恵を貸して欲しい。</p>	市民活動推進部 産業振興部 生涯学習スポーツ部

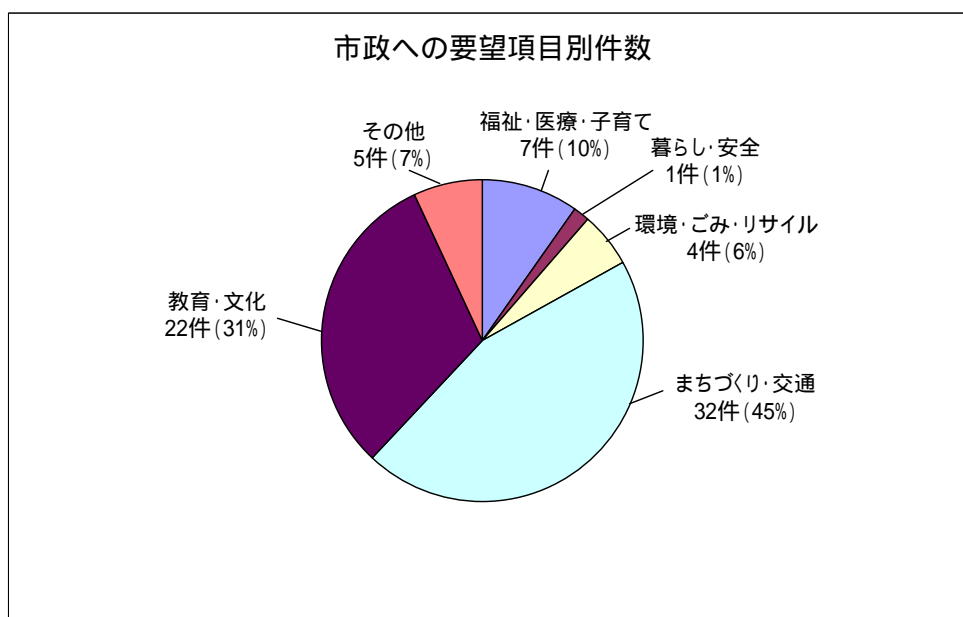
発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
72	<p>【太陽光発電とケナフについて】</p> <p>環境に優しく資源を大事にする太陽光発電について、補助制度を行う予定があるのか。CO2削減に寄与するケナフという植物があるが、二酸化炭素を吸って酸素を出してくれる。これを育ててくれる農家があるかどうか。材木の代わりに紙を作ることができ、染料にもなり、花も利用することができるという利点もある。八王子の状況を教えてほしい。</p> <p>(斉藤 利恵)</p>	<p>太陽光発電は、確かに国の外郭団体が補助をしていた。補助の期間が終わって打ち切りになった。これを自治体でやっているところもあるけれども、結論から言うと、八王子は今、考えていない。自治体によって、財政状況とか力を入れなければならない部分がある。八王子はその段階になっていない。将来はわからないが、現状では優先すべき課題がある。ケナフは紙の材料になったりする。八王子では聞いたことがない。ケナフだけでなく植物が多くなるのはCO2削減になる訳だから、緑を確保していくことに取り組んでいる。市で取り上げて推奨することは、今のところ考えていない。</p>	産業振興部 環境部
73	<p>【小・中学校の耐震補強工事について】</p> <p>子どもが小宮小に通っていて、今、耐震補強工事を行っている。八王子市内の小・中学校の耐震補強工事の進み具合を教えてください。</p> <p>(内田)</p>	<p>八王子はまだ60%を切っている。今、大車輪で取り組んでいる。平成24年までには全部耐震工事は終えようと前倒しをし、100%耐震を行う。小学校が70校・中学校が37校・小中一貫校の高尾山学園があり、108校である。東京都で最も多い。人口は6番目くらいだが、学校が一番多い。市街地で同様の地震が発生した時には、大きな被害が生じるということは目に見えてわかる。その時に一番身近なのは、小・中学校である。避難するには近いところにあり、校庭も広い。身近な避難場所が安全で安心できるような状況にあるということは、必須条件である。全力で取り組んでいるのでご理解ください。</p>	生活安全部 学校教育部

6. 過去の提案等取り組み状況

平成19年度“タウンミーティング「市長と語る」”提案等取り組み状況

テ ー マ 市民のみなさんの夢をきかせて！ ～10年後のわがまちを語り合おう～
各会場の実績

開催日	会 場 (ミニコンサート出演大学)	地 域	地 区	参加者数 (人)	発言者数 (人)	発言項目数 (件)
5月12日	市役所本庁舎 (東京純心女子大学)	中 央	本 庁	118	12	17
5月19日	柏木小学校 (首都大学東京)	東 部	由木 由木東南大沢	60	7	10
5月26日	北野事務所 (東京工科大学)	東南部	由井 北野	116	10	14
6月9日	川口市民センター (東京造形大学)	西 部	元八王子 恩方 川口	164	9	9
6月16日	横山南市民センター (東京家政学院大学)	西南部	浅川 横山 館	86	6	7
6月23日	加住市民センター (東京家政学院大学)	北 部	加住 石川	99	11	14
			合 計	643	55	71



ご意見・ご提案をいただいたその後の取り組み状況の一例をご報告すると

平成19年5月12日・市役所本庁舎【中央地域】

<意見> 学園都市づくり」のプランについて、具体的にどういったものを目指しているのか教えてほしい。「学園都市」ということを掲げているのだから、在住の学生に対してもメリットのあるまちづくりがされるのか。

(宮本 誠主 様)

市長 八王子の「学園都市づくり」は、八王子の大学の学生だけを対象としているだけではない。私が嬉しいのは、真剣にまちづくりにご提案をしてご協力をしていただいていることである。それは、素晴らしいことだと思う。学生独自の発想で学生しかできないような内容で「学生天国」を開催している。学園都市大学「いちよう塾」がある。包括的な市民大学を開催しているのは、八王子だけではないかと思っている。ホームページや広報に具体的なものが掲載されているので、見ていただきたい。

【対応】 現在行っている各種事業を推進するとともに、更なる学園都市づくりを推進するために、八王子の学園都市づくりを統括する新たな組織「(仮)大学コンソーシアム八王子」の設立を平成20年度に検討していく。

<意見> 八王子市ブランドの名産のグッズを作り、それを前面に出して売り込みをしたらどうか。

(榎本 邦美 様)

市長 八王子ブランドのグッズはなかなか難しい。これは、市民の皆さんから持ち上がってそれを行政がバックアップしていくというのが大事ではないか。広くアイデアをいただいて、行政がやらなければならないことは、しっかりとやっていきたいと思っている。

【対応】 行政の役割として、民間が行なう八王子ブランドの周知・情報提供を行なった。「プリンセスカレー」(レトルトカレー)、「千人同心」(日本酒)、「八王子 Walker vol. 2」発刊支援等である。今年度、本市の地域産業資源として、「高尾山」「道の駅八王子滝山」「服飾製品」「計測・分析機器」が、都の策定した「中小企業地域資源活用促進法における基本計画」による国の認定を受けた。中小企業がこれらの地域産業資源を活用した製品開発を行なう場合、国からの支援が受けられるため、本市でも企業訪問等を通じて企業情報を収集し、本制度を活用する中小企業につなげていく。

平成19年5月19日・柏木小学校【東部地域】

<意見> 中学校の給食については、検討ありがとう。いつか叶うことを願っている。

(白水 嘉奈子 様)

市長 中学校給食のことは、今、検討している。できるだけ、余りお金の掛からない方法を考えて前向きに検討中であるから、もう少し時間をいただきたい。

【対応】 平成21年4月から、市内全中学校一斉に開始する予定。民間の給食業者を活用した弁当の配達方式と家庭から弁当を持参する方法との併用方式を検討している。平成20年度中に配膳室や業者との契約等の準備を行う。

<意見> 南大沢駅前の自転車の放置がひどい。最初はちょっと見苦しい程度であったが、当たり前のように置いていかれ、歩くのも迂回しなければ目的地に到達できない状況である。一方的な不快感と通行の障害で不便である。行政として、眼を向けているのか。

(千葉 陽子 様)

市長 眼を向けているが、駅前の放置自転車は本当に困ったものである。私は自転車の普及は良いことだと思っている。環境にも健康にもよいのであるが、モラル、倫理観がどうしようもないほど低下している。駐輪場への案内とか撤去の問題とか、もっと力を入れてやる。駅前や施設の前は顔である。顔が汚れていれば、いい感じは持たない。モラルアップやマナーアップをこれから訴えていきたい。

【対応】 南大沢駅前は、一時は700台を超える放置自転車がある現状であった。地元町会、商店会が駅前クリーンキャンペーンを定期的を実施し、放置自転車の一掃に向け積極的に取り組んだ。また、十分な駐輪場が確保されていることを背景に、放置自転車等指導誘導員を導入し一定期間、継続して放置防止を呼びかけるとともに、撤去活動も強化したところ、放置が激減した。

平成19年5月26日・北野事務所【東南部地域】

<意見> 市制100周年を目指し、夢を語るようなカラオケの大会を年に1回開催したらどうか。是非企画してもらって、会場を提供してもらいたい。

(佐藤 良信 様)

市長 地域の活動の中心になっていただいている方が企画をしてほしい。行政がやることではない。多くの皆さんに参加してもらいたい。行政はバックアップする。具体的に企画していただければ、バックアップできることはしていく。

【対応】 (財)八王子市学園都市文化ふれあい財団の支援事業として、実行委員会により平成 20 年 1 月 6 日学園都市センターイベントホールにて開催をした。

<意見> 障害者自立支援法のコミュニケーション支援事業について、「当面无料」としてくれたことに感謝する。今後も無料を続けてほしい。また、市役所に手話通訳者を設置してほしい。

(宮本 一郎 様)

市長 国の障害者自立支援法の趣旨では 1 割自己負担となっているところを、負担なしになるよう市がカバーしている。だから当面という表現をしているが、皆さんも困るだろうから、これからも続けたい。職員に手話通訳できる人がたくさんいる。ボランティアで勉強してできるようにしているので、是非声をかけてほしい。

【対応】 手話通訳等派遣事業について、平成 20 年度も引き続き自己負担無しで実施する。なお、平成 20 年度から、派遣対象に市が主催する事業に聴覚障害者等が参加する場合も含めることとし、事業の拡大を図った。今後も障害福祉計画に基づいた派遣件数を確保し、利用を促進するために、市広報であらためて制度の周知を図った。

平成 19 年 6 月 9 日・川口市民センター【西部地域】

<意見> 川口の物流基地の計画は、八王子市の都市計画マスタープランにも計画され、色々な動きがあるように聞いている。私は、この計画はこの地域が発展するには必要かつ重要であると思う。しかし、地元には情報が少ない。地元住民が事前に知るために、情報の共有ができないだろうか。

(浜中 賢司 様)

市長 21 世紀の行政運営として、市民参加、協働というのは当然のことと思う。あらゆる分野で市民に参加してもらい、一緒に考え知恵を出しあって、一定の責任をもちながらすすめ、情報を共有するのは当然である。圏央道開通というのは極めて大きなビジネスチャンスをもたらすと考えている。これから、物流基地について、地域の皆さんと情報を共有するような組織を作る。今までは、物流拠点として成り立つかどうかという基本的

な調査をしてきた。地域の活性化が期待したとおりになるよう、皆さんの知恵をお借りしながら努力していきたい。

【対応】 19年度は、まちづくり検討会を立ち上げる前提として検討範囲の設定や基本方針などを定める必要があることから、川口地区、美山地区、元八王子地区の代表者の参加を得て、物流拠点整備を含めた、圏央道八王子西 IC 周辺まちづくりについての勉強会を実施した。

20年度は、勉強会での地域の皆様のご意見をもとに、基本的な計画の策定に向けた検討会を立ち上げていく予定。

<意見> 八王子八十八景は認知度が低い。私は、八十八景を広げていきたいと思っている。観光という視点で、八十八景がどんな役割を担っていると考えているのか。認知度アップのために、どんな対策をしていくのか教えてほしい。

(松山 夏季 様)

市長 八十八景が選ばれたときは、八王子にはこんなにいい所があるんだ、すごい資源があるんだと嬉しくなった。八十八景の役割は、いろいろあると思う。市外の方からは、八王子の魅力のひとつであり、八王子市民にとっては自信になる。新しい市民の皆さんがたくさんいるが、私は一日も早く身も心も八王子市民になってもらいたいという強い願いがある。八王子の歴史や文化に触れてもらい、いい所を知ってもらえば、ふるさと意識がもてるようになると思う。そういう大きな役割があるのではないかなと思う。認知度が低いと指摘をうけたが、これは頭の痛いところである。あらゆる角度から、認知度アップの努力をしていきたい。

【対応】 本市の特性に応じた景観施策を展開していくため、景観法に基づく「景観計画」及び「景観条例」の検討を平成 20 年度から始める。八王子らしい景観計画等を策定するためには、市の代表的な景観資源である「八王子八十八景」を踏まえ、検討を進めることが必要であると考え、景観計画等の検討を進めていく過程で、機会をとらえて八王子八十八景の PR を図り、都市景観に対する市民の関心度も高めていきたい。

平成 19 年 6 月 16 日・横山南市民センター【西南部地域】

<意見> 圏央道開通による八王子市の経済効果は地域間競争が必至と思われる。そこで企業誘致に関して、例えば 10 年間固定資産税を半減するといった優遇処置等は考えているのだろうか。

(水野 康直 様)

市長 圏央道が開通するという事は、ビジネスチャンスだと思う。産業振興には大きなプラスになる。優遇措置の件であるが、今、八王子市では「いきいき企業支援条例」をやっている。良い企業に八王子にこの機会に来てもらうというのは、大事なことだろうと思っている。固定資産税・都市計画税・事業所税を3年間キャッシュバックしている。

【対応】 市では、平成16年4月に「いきいき企業支援条例」を制定し、企業立地促進地域へのものづくり企業、商業、物流系産業、事務所の立地について、固定資産税、都市計画税、事業所税を3年間キャッシュバックする制度を立ち上げている。平成19年1月には、同条例を改正し、貸し施設（貸し工場など）の設置者や、ものづくり企業や物流系企業の施設設置のために大規模な事業用地を譲渡する者に対する奨励金の制度も設定した。

また、市内の宅建業者と連携して「企業立地サポートネット」を立ち上げ、立地を希望する企業に対する不動産情報の提供にも努めている。

これらの制度を活用しながら、都市再生機構や東京都という大規模業務用地の所有者、金融機関とも連携し、情報発信や企業ニーズの把握に努め、その後新たに1社指定を行い、現在21企業（内、ものづくり企業15社）に対して、支援条例に基づく指定を行った。

「いきいき企業支援条例」は、現時点では平成20年度の指定で制度が終了する予定になっているが、平成21年度以降の延長に向け、引き続き検討を行っていく。

<意見> 10年後の夢は、市民が気軽に語り合える交流の場で心豊かなまちである。町内がコミュニケーション豊かなまちになり、八王子が一番住みやすいまちになるということである。市民と行政がもう一步踏み出していかなければならない。地元の町民との交流、対話を活発化していくため、いつでも気軽に楽しく話し合える「自宅から近くの小さな交流の場」としての施設が必要であると思う。

（横沢 勝弥 様）

市長 同感である。残念なことに、地域の交流がところによっては薄まってきたりしていることに、心を痛めている。これは、まちづくりの大きな課題であると思う。交流の場として「ふれあいサロン」を紹介しており、市内36ヶ所で行っている。町会の会館を上手に活用していければと考えている。学校は空き教室があるが、子どもたちの安全・安心という観点からいえば、難しい。ひとり暮らしや高齢者だけの世帯が増えているから、交流の場は必要なことだと思っている。より積極的に取り組んで、場の提供等取り組んでいきたい。

【対応】 地域コミュニティ活動の拠点としては市民センターがあり、市ではその充実に努めているが、身近で気軽に楽しく話し合える交流の場としては、町会・自治会の集会施設が適している。市は、こうした集会施設の設置や改修工事に補助金を出している。また、ふれあいの場、交流の場として集会施設を利用したサロン活動を定期的に行っている町会・自治会も増えてきている。「ふれあいサロン事業」へ補助金を出している社会福祉協議会では、

現在、高齢者 42 ヶ所、子育て 10 ヶ所の計 52 ヶ所のふれあいサロンを立ち上げている。20 年度は 10 団体の立ち上げを目標としている。

さらに、「サロン活動支援事業」を実施する予定。少子高齢化社会においては、高齢者同士が地域においてきずなを深めることは必要なことであり、全市域に広がることを目指し、事業に取り組む。

平成 19 年 6 月 23 日・加住市民センター【北部地域】

< 意見 > 今日、圏央道八王子西 I C が開通した。西寺方から八王子 I C まで 30 分かかっていたが、5 ~ 6 分で行けるようになった。市長の尽力に感謝したい。以前から課題になっている中央高速の件であるが、首都高はすでに他県にまたがっている現状を考えたとき、三鷹の料金所をなくして八王子まで首都高にできないだろうか。

(飯高 達夫 様)

市長 圏央道は効果が大きく、八王子の西の地域にとっては便利になる。大変な朗報だと思う。関越道から中央道まで 1 時間半かかっていたのが、3 分の 1 の 30 分に短縮される。皆さんの使いやすい料金にすることは、大事なことだと思っている。首都高の問題だが、長年の課題で、八王子市議会でも一致団結して取り組んでくれている。しかし、首都高と中央道は、まったく違う会社であり、成り立ちからして、非常に難しい問題がある。料金が改められ、距離制になり、バランスがとれるように、今、関係機関に働きかけをしている。引き続き努力をする。

【対応】 圏央道の開通を機に、圏央道の通行料金の恒久的な引下げや首都圏の高速道路をより使いやすくより便利なものとしていくために、市長の提案により圏央道沿線の自治体や経済界、観光団体並びに圏央道の利用者などからなる「圏央道の使いやすさ向上を考える会」を立上げ、昨年秋には、圏央道や首都圏の高速道路の問題について討議するとともに、関係機関へ要請活動を行った。また、本年 2 月には圏央道の接続と中央道の開通 40 周年を記念して道路に関するフォーラムを開催し、広く社会へ高速道路の課題などについて訴えた。

< 意見 > 八王子にたくさんの大学がある。そこで、大学に協力してもらい、中学生が体験入学ができたらと思っている。将来の視野が広がるのではないか。留学生との交流も、国際貢献、国際理解のためには有効ではないか。

(佐藤 研治 様)

市長 前向きなご提案である。それぞれの大学が特色を出しながら、まちづくりにご協力してくれている。中学生が大学に行って体験入学をするというのはなかなか難しいため、大学生が中学生の部活にご協力をしてくれている。八王子市立の小・中学校では、大学生をインターンシップとして受け入れている。留学生は、ゲストティーチャーというような形でお願いできないだろうかという提案をしている。大学は知的資源、知的財産だと思っているので、これをフルに活用させていただくということは、まちづくりにとって有効な手段だと思う。

【対応】 市は、八王子国際交流団体連絡会と協働で外国人との交流事業を実施している。小・中学生と留学生との交流は、ゲストティーチャーとして留学生を含めた外国人が、小・中学生を訪問し交流する「国際理解教育」推進の観点から実施している。現在、12名の留学生が本事業に登録し、小・中学生との交流を行っている。また、学校インターンシップやネットワーク多摩から派遣される学生教育ボランティアにより、八王子市立小・中学校と大学生との交流や学校支援が行われるように仲介している。今後も留学生の登録者を増やし、小・中学校の本事業への要請が増加するよう、小・中学校及び大学等へ本事業への周知を図り、ゲストティチャー事業、学校インターンシップ事業、学生教育ボランティア事業を推進していく。平成20年度に設立準備をすすめる「(仮)大学コンソーシアム八王子」で、大学と地域とのさらなる連携について協議していく。

7. 会場配布資料

平成20年度「タウンミーティング「市長と語る」」資料

平成20年度の本市の予算について

市は、皆さんがいきいきと暮らしていけるまちの実現に向けて、さまざまな施策を展開しています。市が目標とするまちづくりの具体的な事業を、市の予算に表しています。

本年度の予算では、4、5年後の本市の姿を見据えた「近未来創造型予算」とし、効果・効率的な事業を厳選しました。5つの重点項目を中心に「八王子ゆめおりプラン」を着実に推進して、プランに掲げた6つの都市像『新しい時代にふさわしい創意にみちた協働のまち』『一人ひとりが大切にされ共助で築くふれあいのまち』『だれもがいつでも多様に学び豊かな文化を育むまち』『安全で快適に暮らせる心やすらぐまち』『魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち』『水とみどりを慈しむ地球環境にやさしいまち』を具体化する施策を展開していきます。

魅力あふれる都市の創造

まちの発展の土台となる道路や施設などの都市基盤整備に、予算配分をしました。
(八王子駅南口地区市街地再開発・高尾駅周辺整備・上野第二地区土地区画整理地内の中央線立体交差開通など)

子育ての支援と教育環境の充実

子育てしやすいまちの実現と学校教育の充実のために、予算に配分しました。
(認証保育所、家庭福祉員、認定こども園などの保育料の負担軽減・中学校給食の21年度実施に向けた準備を開始など)

健康・医療、福祉施策の充実

いきいきと健やかな暮らしを実現するために、高齢者等社会的弱者支援事業に予算配分しました。(市都民税非課税の高齢者世帯が設置する住宅用火災警報器に補助・妊婦健康診査で公費負担を拡充など)

安全・安心な暮らしの確保

多発する災害や犯罪に対する備えを強固にするため、安全・安心の確保に予算配分しました。(町会・自治会などが行う自主防犯パトロール支援など)

環境にやさしいまちづくり

環境に配慮した住みよいまちづくりのために、新たに重点項目として、予算配分しました。(地球温暖化対策の地域推進計画を策定・堀之内地区に(仮称)東山南近隣公園を整備など)

20年度予算の概要

平成20年度予算総額は、一般会計で1,713億円。前年度に比べ2.5%、42億円の増となりました。これは、歳入面では、企業の業績の伸びや家屋の新・増築の増加などによる市税の増、歳出面では、医療制度改革に伴う他会計への繰出金の増など民生費の増と八王子駅南口地区市街地再開発の本格化などによる土木費の増などによるものです。

また、国民健康保険事業など9つの特別会計は、前年度に比べて全体で13.0%、217億3,200万円減の1,457億4,400万円となりました。これは、後期高齢者医療制度への移行に伴い、老人

保健特別会計が減少したことによります。

一般会計及び各特別会計を合わせた平成20年度の予算総額は、前年度に比べ5.2%、175億3,200万円減の3,170億4,400万円となりました。

主な事業

我が国の経済状況は、アメリカ経済の減速、止まるところを知らない原油価格の上昇や最近の円高傾向などにより、先行き不透明となっていますが、「最少の経費で最大の効果を挙げる」という原点に立ち返り、刻々と変化する市民ニーズに的確に対応しつつ、市民の方々と協働でつくりあげた基本構想・基本計画「八王子ゆめおりプラン」を着実に推進し、プランに掲げた6つの都市像を具体化していきます。

ここでは、「八王子ゆめおりプラン」の都市像に沿って設定した、平成20年度の主な事業を紹介します。

(は新規事業、 はレベルアップなどを図る事業です。)

1. 新しい時代にふさわしい創意にみちた協働のまち

町会・自治会活動支援 **2億3,858万円**

町会などの地区活動を支援するため、集会施設の改修費などの一部や、町会等地区連合団体が行う地域の交流を深めるための事業を補助します。

「大学コンソーシアム」の設立 **102万円**

市内で学園都市づくりを行っている組織や事業との連携・統合を図る団体「大学コンソーシアム八王子(仮称)」の設立準備を進めます。

その他の事業

本庁舎の改修...**5億7,662万円**

インターネット使用の情報交流の場「地域ポータルサイト」の運営費補助...**148万円**

行政への市民参加のしくみづくり...**149万円**など

2. 一人ひとりが大切にされ共助で築くふれあいのまち

認証保育所などの利用者への負担軽減 **5,765万円**

新たに認証保育所、家庭福祉員、認定こども園などに在籍する乳幼児の保護者に補助を行い、保育サービスの利用促進を図ります。

シルバーサポーター事業 **1,098万円**

60歳以上のシルバーサポーターを高齢者世帯に派遣して生活支援を行うとともに、サポーター自身の健康の維持や生きがいづくりなどを進めます。

その他の事業

中学・高校生を対象にした麻しん風しん混合予防接種・・・5,963万円
緑町・南多摩都市霊園の整備・・・1億7,901万円 など

3. だれもがいつでも多様に学び豊かな文化を育むまち

教材支援人材バンクの設置 483万円

小・中学校での多様な教育活動を展開するために、教育支援ボランティアと学校を結びつける教材支援人材バンクを設置し、ボランティアをより円滑に派遣して活用できるしくみづくりを行います。

ブックスタート事業 693万円

3～4ヶ月児健診を受診するお子さんに絵本を配付し、絵本を通して親子がふれあう機会をつくるとともに、子育てに役立つ情報を提供します。

その他の事業

新市民会館の整備...8億214万円
八王子城跡の整備活用...4,057万円
総合体育館の調査・研究...545万円
市史の編さん...4,534万円
中学校給食の実施準備...7,983万円 など

4. 安全で快適に暮らせる心やすらぐまち

八王子駅南口地区市街地再開発 38億3,829万円

八王子駅南口に、新市民会館などの公共施設や商業施設などからなる再開発ビルと駅前広場を整備し、地域経済の活性化と利用者の利便性や安全性の向上を図ります。

景観計画の策定 200万円

美しいまちなみづくりを推進するため、景観法に基づく景観計画策定に向けて検討を行います。

その他の事業

高尾駅北口駅前広場および南北自由通路などの整備...3億6,998万円
西八王子駅北口の交通環境改善...6,938万円
洪水ハザードマップの作成...700万円
市民協働による公園整備...1,310万円 など

5 . 魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

農家直営農園の開発整備

150 万円

活用されていない農地の解消を図るため、農家が直接貸し出す農園の整備に補助を行うとともに、農業の新たな担い手を確保します。

「高尾の里」の整備

1 億 62 万円

高尾地域の観光・学習の拠点となる施設を整備するため、建物や広場の実施設計などを行うとともに、甲州街道からの出入口となる高尾新橋の改良工事を行います。

その他の事業

商店街振興...5,641 万円

高尾山麓（さんろく）駐車場の整備...6,500 万円 など

6 . 水とみどりを慈しむ地球環境にやさしいまち

事業系ごみの減量対策

1,217 万円

事業者などが、いつでも古紙を出せる集積所「ストックスペース」を設置します。

緑の基本計画の改定

800 万円

都市における緑地の適正な保全と緑化の推進のため、都市緑地法に基づき策定している計画が平成 22 年度に目標年次を迎えることから、次期計画を策定します。

その他の事業

路上喫煙対策...3,078 万円

環境基本計画の見直し...800 万円

地球温暖化対策地域推進計画の策定...400 万円

廃プラスチック中間処理施設の整備...2,952 万円

旧戸吹清掃工場の解体工事...4 億 5,418 万円 など

[平成20年度]

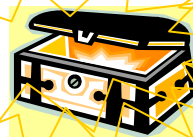


タウンミーティング 「市長と語る」



わがまちの魅力再発見！ ～ **八王子力** をまちづくりに～

地域の資源をまちづくりに活かす皆様のアイデアを
直接、市長にご提案ください。



学生によるミニコンサート も開催しますので、お楽しみください。

お誘い合わせの上、お近くの会場へ直接お越しください。

開催日時及び会場

開催日	会場	時間
5月17日(土)	市役所本庁舎 903 会議室	午後6時40分～9時 (全会場共通)
5月24日(土)	由井市民センター	
5月31日(土)	由木東市民センター	午後6時40分～7時は、 学生によるミニコンサート を開催します。
6月14日(土)	恩方市民センター	
6月21日(土)	横山事務所	
6月28日(土)	石川市民センター	



発言を希望される方や手話通訳を必要とされる方は、開催日の1週間前
までにお申し出ください。

【問い合わせ先】八王子市 総合政策部 広聴広報室(広聴担当) 電話: 620-7411 (直通) FAX: 620-7322

市ホームページアドレス <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/>

学生によるミニコンサート開催日程

開催日	参加団体	種類	会場
5月17日(土)	東京造形大学 folklore	管弦楽	市役所本庁舎 903 会議室
5月24日(土)	中央大学音楽研究会 男声合唱部	合唱	由井市民センター
5月31日(土)	中央大学音楽研究会 吹奏楽部	吹奏楽	由木東市民センター
6月14日(土)	創価大学 Prince Mercy Jazz Orchestra	ジャズ オーケ ストラ	恩方市民センター
6月21日(土)	中央大学 管楽アンサンブル	管楽	横山事務所
6月28日(土)	中央大学 管楽アンサンブル	管楽	石川市民センター



若い感性で未来への夢あふれる市内の大学生達が各会場でミニコンサートを行いました
「音楽のまち」にふさわしい、心温まる演奏をしていただきました。

おわりに

今回の“タウンミーティング「市長と語る」”では、参加者 593 名、6 会場で 54 名の方々から直接ご提案等をいただきました。また、各会場とも市民の皆さんからご熱心にお話をいただき、大変感謝申し上げます。

市では、いただいた皆さんのご提案等を真摯に受け止め、今後の施策への反映に努めていきます。

今後も、市民の皆さんと一緒にまちづくりを考える“タウンミーティング「市長と語る」”を積極的に展開しながら、地域の中で多くの市民の皆さんと交流し、ご意見等いただきたいと考えています。お近くの会場で開催した際には、ぜひご参加いただければ幸いです。

